第３次加須市行政経営プラン　進行管理調書（実施状況報告書）

資料4

「協働力」の向上

基本目標　　１　シティプロモーションの推進

施　　策　　（１）広報活動の充実

取組項目群　　①　わかりやすい広報

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
1	情報提供の充実 シティプロモーション課	【目的】 市が発行する広報紙や各種のお知らせ、ホームページなどについて、情報の受け手である市民の立場に立って、表現内容やレイアウトを工夫するなど、わかりやすさの向上に努めます。 【取組内容】 広報紙、ホームページやＳＮＳなど多様な情報発信ツールを積極的に活用します。また、情報提供にはビジュアル力向上や動画を多く採用するなど、分かりやすい行政情報の提供を推進します。	・ホームページ及びＳＮＳの積極的な活用 ・新型コロナウイルス感染症関連情報の積極的な提供 ・ＰＲ動画の作成・配信 ・職員募集動画、水害時の避難に役立つ短編動画の作成・配信	３・やや遅れている	指標(単位)　市公式ＳＮＳへの動画投稿件数　（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：210／220／230／240／250 実績：110／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントや各種事業等が中止や延期となり、ＰＲ動画の作成に結びつかなかった。	・市民に最新情報を提供するため、引き続き、ホームページやＳＮＳの積極的な活用に努める。

「協働力」の向上

基本目標　　1　シティプロモーションの推進

施　　策　　（1）広報活動の充実

取組項目群　　① わかりやすい広報

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						取組の改善点・今後の取組内容等
2	“役所ことば”の改善 業務改善課	【目的】 市が発行する広報紙や各種のお知らせ、ホームページなどについて、情報の受け手である市民の立場に立って、表現内容やレイアウトを工夫するなど、わかりやすさの向上に努めます。 【取組内容】 窓口や電話、公用文などにおいて、無意識のうちに専門的な行政用語を使用している場合があるため、「役所ことば改善の手引き」に基づき、よりわかりやすい言葉への言い換えを推進します。	・窓口対応等実態調査の実施 ・「役所ことば改善の手引き」を活用した意識啓発	2・概ね達成	指標(単位)	窓口対応等実態調査における「身だしなみ・言葉遣い」についての満足度の割合				（％）	・窓口対応等実態調査結果をもとに、引き続き職員の接遇能力向上と窓口環境の改善を図る。 ・各種研修の機会を捉え、全職員への啓発に取り組む。
					年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
					目標	80	－	80	－	80	
					実績	82.5					
					指標(単位)	窓口対応等実態調査における「説明の分かりやすさ」についての満足度の割合				（％）	
					年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
					目標	85	－	85	－	85	
					実績	84.1					
					指標(単位)	役所ことば改善の手引きの活用数				（回）	
					年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
					目標	2	2	2	2	2	
					実績	1					
					【評価の理由】 ・窓口対応等実態調査における「身だしなみ・言葉遣い」についての満足度は82.5%、「説明の分かりやすさ」についての満足度は84.1%であったことから、本評価とした。 ・「役所ことば改善の手引き」を活用し、新規採用職員研修で意識啓発を行った。						

「協働力」の向上

基本目標　　１　シティプロモーションの推進

施　　策　　（１）広報活動の充実

取組項目群　　②　多様な広報媒体の活用

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
3	ＳＮＳの推進 シティプロモーション課	【目的】 ＳＮＳやメール配信の内容の充実を図り活用するなど、広く市民に周知できるように多様な広報媒体の活用を進めます。 【取組内容】 ＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の有効活用により、行政情報などの積極的な提供を推進し、市民と行政の情報共有化を図ります。	・ＳＮＳの積極的な活用 ・新型コロナウイルス感染症関連情報の積極的な提供 ・ＰＲ動画の作成・配信	１・目標を達成	指標(単位)：市公式ＳＮＳ等のフォロワー数（数） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：18,000／21,000／24,000／27,000／30,000 実績：60,470／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナワクチン接種の予約方法の一つにラインが含まれているため、ラインの登録者数が大幅に増加した結果、市公式ＳＮＳ等のフォロワー数が目標値を大幅に上回ったため。	・更なるＳＮＳの有効活用と、積極的な情報提供を行う。
4	メール配信の充実 交通防犯課	【目的】 ＳＮＳやメール配信の内容の充実を図り活用するなど、広く市民に周知できるように多様な広報媒体の活用を進めます。 【取組内容】 「かぞホっとメール」により、安全安心情報、イベント情報、子育て情報、就業支援情報及び学校配信情報などを、登録者の携帯電話などに配信します。	・安全安心情報、子育て情報、イベント情報、就業支援情報、保育園・幼稚園・小学校・中学校からの情報、職員緊急招集等のメール配信を行う。 ・登録者の拡大のため、市ホームページや広報紙に利用案内を掲載するとともに、転入者にチラシを配布	２・概ね達成	指標(単位)：市人口に対する「かぞホッとメール」の実登録者の割合（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：18／20／22／23／25 実績：16.1／／／／ 【評価の理由】 ・かぞホッとメールの周知と利用案内について、市ホームページや広報紙に掲載するとともに、転入者にチラシ配布等行い、登録者の拡大を図ることができたため。 実登録者数　17,979人（4月1日現在人口　111,947人）	・登録者の拡大に向け、継続して、市ホームページや広報紙に利用案内を掲載するとともに、転入者にチラシを配布する。

「協働力」の向上

基本目標　　１　シティプロモーションの推進

施　　策　　（２）市の魅力発信の充実

取組項目群　　①　市の魅力の発信強化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
5	シティセールスの推進 シティプロモーション課	【目的】 シティセールスやパブリシティなどを推進し、市の魅力を市内外に積極的に発信することで、市民の「加須市」への愛着や誇りといったアイデンティティの醸成を図ります。 【取組内容】 加須市ＰＲ営業本部会議における新たなＰＲ方策の検討などを参考に、多様なシティセールスを推進します。また、ホームページ上の「魅力発信かぞ」やＰＲ動画を充実させ、積極的に情報発信します。	・ホームページ「魅力発信かぞ」の定期的な更新 ・こいのぼり手ぬぐいの作成・販売 ・名刺台紙の作成・販売 ・ガイドマップ、スポーツリーフレットの修正増刷 ・高速道路ＳＡ（蓮田ＳＡ上り）でのリーフレット設置 ・テレ玉データ放送サービスの利用	１・目標を達成	指標(単位)：市公式ホームページ「魅力発信かぞ」の更新回数（回） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：３／３／３／３／３ 実績：３／／／／ 【評価の理由】 ・各課への定期的な更新依頼により、市公式ホームページ「魅力発信かぞ」の更新回数が、目標を達成したため。	・シティプロモーション方針のターゲット（30代の子育て世代）に向け、効果的なＰＲを行う。
6	パブリシティの推進 シティプロモーション課	【目的】 シティセールスやパブリシティなどを推進し、市の魅力を市内外に積極的に発信することで、市民の「加須市」への愛着や誇りといったアイデンティティの醸成を図ります。 【取組内容】 新聞やテレビなどのメディアを通じた情報発信を推進し、市を積極的にＰＲします。	・パブリシティ（報道機関への情報提供）の積極的な実施	１・目標を達成	指標(単位)：パブリシティ年間情報提供の件数（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：460／470／480／490／500 実績：461／／／／ 【評価の理由】 ・パブリシティ年間情報提供の件数が、目標を上回ったため。	・マスメディアによるＰＲは今後も有効であるため、引き続き、積極的な情報提供を行う。

「協働力」の向上

基本目標　　１　シティプロモーションの推進

施　　策　　（２）市の魅力発信の充実

取組項目群　　①　市の魅力の発信強化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
7	市民カメラマンとの連携 シティプロモーション課	【目的】 シティセールスやパブリシティなどを推進し、市の魅力を市内外に積極的に発信することで、市民の「加須市」への愛着や誇りといったアイデンティティの醸成を図ります。 【取組内容】 広報紙やホームページなどに、市民カメラマン撮影の写真を積極的に活用し、市民との協働による広報活動につなげます。	・市民カメラマン撮影の写真を広報紙・ＳＮＳに活用	４・大幅に遅れている	指標(単位)：広報紙やホームページ等に掲載した写真の件数（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：250／250／250／250／250 実績：49／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民カメラマンの各種行事等への取材協力を控えた。また、広報紙のリニューアルやＳＮＳ（インスタグラム）の運用変更により、市民カメラマンが撮影した写真を広報紙やホームページ等に掲載した写真の件数が大きく目標値に届かなかったため。	・市民カメラマン撮影の写真を市の魅力発信につなげられるよう、更なる活用機会を検討する。
8	フィルムコミッション事業の推進 シティプロモーション課	【目的】 シティセールスやパブリシティなどを推進し、市の魅力を市内外に積極的に発信することで、市民の「加須市」への愛着や誇りといったアイデンティティの醸成を図ります。 【取組内容】 映像制作活動の誘致、撮影時のロケーション活動や撮影に関する支援を行います。	・市内のロケーションに関する情報提供 ・撮影相談及び撮影に係る支援の実施	３・やや遅れている	指標(単位)：フィルムコミッション情報提供の件数（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：80／80／80／80／80 実績：47／／／／ 【評価の理由】 ・市内のロケーションを有効に活用していただくよう積極的な情報提供を実施したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で問い合わせ件数が大幅に減少し、情報提供件数が目標値を下回ったため。	・引き続き、市内ロケーションに関する情報提供を積極的に行い、誘致に努める。

「協働力」の向上

基本目標　２　広聴の推進

施　　策　（１）対話の推進

取組項目群　①　市民との対話の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
9	市政についての話し合いの開催 政策調整課	【目的】 市政についての話し合いや出前市長室を開催して、市民との対話を推進します。 【取組内容】 市民と行政の相互理解を深めるため、各地域で広聴集会を開催し、テーマや市政全般について、市民の意見や要望などを伺います。	・新型コロナウイルス感染症の影響により不開催	4・大幅に遅れている	指標(単位)：市政についての話し合いに参加した人数（人） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：1,010／1,020／1,030／1,040／1,050 実績：0／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により不開催だったため。	・新たな広聴事業として「市長と語るタウンミーティング」を実施するが、今後も市民からの市政に対する意見及び要望等の効果的な聴取方法や反映方法を検討していく。
10	出前市長室の推進 秘書課	【目的】 市政についての話し合いや出前市長室を開催して、市民との対話を推進します。 【取組内容】 市長本人が、市長との対話を希望する市民団体等に伺い、対話集会を行います。	・4団体計62人の方々が参加（うち1団体は書面による質疑応答のみ） ・団体からいただいた意見や要望等に対し、担当課と対応を調整 ・団体から寄せられた意見、提言等を収集し、可能な限り市政に反映	4・大幅に遅れている	指標(単位)：出前市長室に参加した人数（人） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：200／200／200／200／200 実績：62／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、申込後に開催中止とした団体や、申込数の減少などの影響があった。	・新たな広聴事業として「市長と語るタウンミーティング」を実施するが、今後も市民からの市政に対する意見及び要望等の効果的な聴取方法や反映方法を検討していく。

「協働力」の向上

基本目標　２　広聴の推進

施　　策　（２）広聴活動の充実

取組項目群　①　意見聴取の機会の充実

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
11	市民意識調査の実施 政策調整課	【目的】 市民の思いや考え方を市政に取り入れ、仕事の見直しや政策形成に反映するため、市民の意見を伺う機会を拡充します。また、市民の意見や要望などに対し、スピード感を持って確実なフォローを行います。 【取組内容】 市民の意見を把握し、総合振興計画や各部門計画の策定の基礎資料として活用するため、市民意識調査を行います。	・各部門計画の策定等において市民意識調査を実施し、市民のニーズを把握（計画策定の基礎資料として活用）	1・目標を達成	指標(単位)　市民の意識や満足度等の現状値を把握し政策形成に活用した回数　（　回　） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：1／1／1／1／1 実績：4／／／／ 【評価の理由】 ・市民意識調査を実施し、市民のニーズを的確に把握することで、現行計画の進捗状況を把握し、計画策定に活用することができた。 ①子ども読書活動推進計画 ②商業振興プラン ③一般廃棄物処理基本計画 ④まちづくり構想	・各部門計画の策定等において市民意識調査を実施し、市民のニーズを的確に把握し、計画策定の基礎資料としての活用を図る。
12	市長への手紙・メールへの適切な対応 秘書課	【目的】 市民の思いや考え方を市政に取り入れ、仕事の見直しや政策形成に反映するため、市民の意見を伺う機会を拡充します。また、市民の意見や要望などに対し、スピード感を持って確実なフォローを行います。 【取組内容】 「市長への手紙・メール」により、市民からいただいた意見や要望などに対し、速やかに回答し、これを可能な限り市政に反映させます。	・寄せられた意見、要望等については可能な限り市政運営に反映（受理件数321件（手紙204件、メール117件）） ・原則2週間以内を目途に回答	1・目標を達成	指標(単位)　市長への手紙・メールの１４日以内の回答率　（　％　） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：70／70／70／70／70 実績：80.25／／／／ 【評価の理由】 ・担当部長を中心とした対応による迅速な回答を依頼し、進捗状況の適切な把握に努めた結果、目標を上回る実績を達成した。	・引き続き、担当部長を中心とした対応により、迅速かつ適切で、より丁寧な回答をする。

「協働力」の向上

基本目標　　２　広聴の推進

施　　策　　（２）広聴活動の充実

取組項目群　　②　審議会などへの市民の登用

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
13	審議会などへの若手や女性委員の登用 総務課	【目的】 市の施策や計画づくりなどへの市民の参画を促すため、審議会や協議会の委員の公募を進めるとともに、若手や女性の登用を進めます。 【取組内容】 市が設置する審議会や協議会などの委員に、若手や女性の登用を推進します。	・「審議会等の設置及び運営に関する指針」に基づき、幅広い年齢層の意見を反映できるように配慮するとともに、審議会等の委員における男女の構成比について、男女のいずれか一方の数が委員総数の3割未満とならないように努め、若手及び女性の委員の登用を推進	２・概ね達成	指標(単位)：審議会等委員のうち女性の割合（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：30／32／34／36／40 実績：29.9／／／／ 【評価の理由】 ・実績値が目標値の8割に達したため、本評価とした。 ・指標実績値：29.9%（審議会等委員のうち女性　466人／審議会等委員　1,561人）	・引き続き、若手及び女性の委員の登用を推進する。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）　市民と行政との協働の推進

取組項目群　①　地域課題解決への連携

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
14	空家の対策・活用 交通防犯課	【目的】 市民のニーズや地域課題などが多様化し、増加傾向にある中、これらに的確に対応するため、関係機関が連携し、地域課題の解決に努めます。 【取組内容】 管理不全な空家の所有者等に指導等を行うとともに、「自治協力団体への加入促進、ごみの分別及び空家対策に関する協定」に基づき、地域と連携した対策に取り組みます。また、空家バンク制度等により、空家の活用を促進します。	・市民、所有者等に対する啓発・支援 ・自治協力団体と連携し、空家等の実態調査を実施 ・空家等所有者に対するアンケート調査を実施 ・空家バンク及び空家バンク以外による市場流通の促進支援など、協力団体と連携し実施 ・管理不全な空家の所有者等に対し指導等を行うとともに、適切な管理の必要性を認識してもらうための啓発や情報提供を実施	２・概ね達成	指標(単位)：問題のある空家数（戸） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：170／160／150／140／130 実績：187 指標(単位)：空家バンクの成約数（累計）（戸） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：4／6／8／10／12 実績：6 【評価の理由】 ・問題のある空家の所有者等に対する啓発・支援や指導等により、年度により変動はあるが着実に取壊しも含め改善等が図られている。しかし、空家等になった経緯や要因など様々であり、解決等に時間がかかる物件もある。 ・空家バンクについては、これまでの取組による効果の現れにより、累計6件成約に至っており、目標を達成することができた。	・自治協力団体と連携して空家等の実態調査を行うなど、適正な管理を促進するとともに、管理不全な空家等の発生抑制を図る。 ・空家バンク及び空き家バンク以外の市場流通による空家の利活用促進を図る。
15	市民とともに子供たちの学力向上を推進 学校教育課	【目的】 市民のニーズや地域課題などが多様化し、増加傾向にある中、これらに的確に対応するため、関係機関が連携し、地域課題の解決に努めます。 【取組内容】 中学生学力アップ教室「加須まなびTime」を各地域（加須地域２会場、騎西・北川辺・大利根）において、土、日のいずれかで実施しています。指導者として、加須市に関わりのある元教員や大学生に協力をいただき、子供たちの学力の向上を図ります。	・中学生学力アップ教室「加須まなびTime」の実施（計１０回） ・元教員による学習コーディネーター、大学生による学習サポーターを各会場へ配置	１・目標を達成	指標(単位)：「加須まなびTime」に指導者としてご協力いただいている地域の方の割合（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：75／75／78／78／80 実績：83 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染状況や、国や県からの緊急事態宣言・まん延防止重点措置期間を除く、１０月中旬から１２月下旬まで、会場における「３密」の解消や消毒、マスク着用等の感染対策をとりながら、実施することができた。 ・感染対策の一つとして、参加希望者のうち、１年生の参加を全会場で見送った。	・学習コーディネーターや学習サポーターの新規任用と各会場への配置確保

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）　市民と行政との協働の推進

取組項目群　①　地域課題解決への連携

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
16	地域における簡易整備などの実施 道路課	【目的】 市民のニーズや地域課題などが多様化し、増加傾向にある中、これらに的確に対応するため、関係機関が連携し、地域課題の解決に努めます。 【取組内容】 生活道路の舗装穴埋めや砂利敷きなどの簡易な維持管理について、市から原材料を提供し、地域市民とともに整備します。	・資材の提供 ・市の支援内容の照会	1・目標を達成	指標(単位)：簡易整備などを行う自治協力団体への支援率（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：100／／／／ 【評価の理由】 ・自治協力団体から依頼を受けた原材料の提供については全て対応した。	・引き続き、PRや支援を行っていく。
17	水防協力員の適正配置 治水課	【目的】 市民のニーズや地域課題などが多様化し、増加傾向にある中、これらに的確に対応するため、関係機関が連携し、地域課題の解決に努めます。 【取組内容】 水防協力員とともに、溢水等による二次的被害の軽減を図ります。	・水防協力員を増員 ・水防協力員に必要な備品等を配布	1・目標を達成	指標(単位)：水防協力員の配置が適切に行われた率（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：100／／／／ 指標(単位)：水防協力員の人数（人） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：34／34／34／34／34 実績：36／／／／ 【評価の理由】 ・令和２年９月のゲリラ豪雨で特に被害が大きかった地区について、水防協力員を増員し溢水等による二次的被害の軽減を図ることができた。	・引き続き、より有効的な水防協力員の適正配置に努める。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）　市民と行政との協働の推進

取組項目群　①　地域課題解決への連携

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
18	消防団員の確保 危機管理防災課	【目的】 市民のニーズや地域課題などが多様化し、増加傾向にある中、これらに的確に対応するため、関係機関が連携し、地域課題の解決に努めます。 【取組内容】 地域における非常備消防として、消防団員・水防団員を確保することにより、消防団の強化を図ります。	・消防団の備品及び施設の整備・保守更新を計画的に実施 ・感染症対策を講じて、訓練の実施と火災鎮圧活動等を実施	2・概ね達成	指標(単位)：消防団員数（人） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：445／445／445／445／445 実績：420／／／／ 【評価の理由】 ・消防団だよりの発行、消防団員募集のポスターやチラシの掲示をし、加入促進を行った。 ・ホームページの活用や自治会との連携による団員確保に努めた。 ・消防団員自ら知人等を通じて個別に加入促進を行った。	・消防団の現状を踏まえ、団組織及び処遇改善への対応案を検討する。
19	地域による防災体制の構築 危機管理防災課	【目的】 市民のニーズや地域課題などが多様化し、増加傾向にある中、これらに的確に対応するため、関係機関が連携し、地域課題の解決に努めます。 【取組内容】 「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯感に基づき、各地区において自発的に初期消火や救出救護及び水害時の避難誘導などの防災活動を行う組織の設立を目指します。	・自主防災組織による自主防災訓練の支援を実施 ・自主防災組織未設立の会長に連絡を行い、組織の必要性及び設立を依頼	4・大幅に遅れている	指標(単位)：自主防災組織に対する自主防災訓練の実施数の割合（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：24／26／29／31／33 実績：5.1／／／／ 指標(単位)：自主防災組織の組織率（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：92.7／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自主防災訓練を中止とする組織が多く、訓練実施数が減少した。	・自主防災訓練の実施を促進するため、自主防災組織リーダーを対象に、コロナ禍における自主防災訓練の事例発表を行う。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）　市民と行政との協働の推進

取組項目群　①　地域課題解決への連携

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
20	地域における防災リーダー育成の推進 危機管理防災課	【目的】 市民のニーズや地域課題などが多様化し、増加傾向にある中、これらに的確に対応するため、関係機関が連携し、地域課題の解決に努めます。 【取組内容】 防災啓発活動を実施することで、地域防災の要となる各自主防災組織及び自治協力団体のリーダー育成を図り、地域防災力の向上を目指します。	・自主防災組織及び自治協力団体等を対象に、防災に関する防災研修会や出前講座を実施 ・自主防災組織リーダー養成講座は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	２・概ね達成	指標(単位)　防災研修会及び出前講座参加者数　（人） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：1,250／1,250／1,250／1,250／1,250 実績：1,215／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数の制限を行うことと併せ、防災研修会等の実施回数を増やし、地域における防災リーダーの育成を図った。	・水害対応において、もっとも重要視される気象情報の理解を深めるため、気象防災アドバイザーのよる研修を実施する。
21	水害広域避難訓練の実施 危機管理防災課	【目的】 市民のニーズや地域課題などが多様化し、増加傾向にある中、これらに的確に対応するため、関係機関が連携し、地域課題の解決に努めます。 【取組内容】 広域避難の実効性を高め、市民へ避難方法等の普及を図ることで、大規模水害に備えた広域避難体制の充実を図ります。	・水害時避難場所運営実地研修を実施 ・大規模水害時の避難行動チラシを作成し全戸配布 ・総合水害広域避難訓練図上訓練を実施	４・大幅に遅れている	指標(単位)　総合水害広域避難訓練の参加者数　（人） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：2,000／2,050／2,100／2,150／2,200 実績：0／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、市民参加の広域避難訓練、避難場所開設運営訓練が実施できず、職員のみの図上訓練を実施した。	・新型コロナウイルス感染症対策を講じて総合水害広域避難訓練を実施する。 ・広域避難協議会構成市町共同でのチラシ等作成し、広域避難対象地域地区に配布し、周知する。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）　市民と行政との協働の推進

取組項目群　①　地域課題解決への連携

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
22	地域による防犯体制の構築 交通防犯課	【目的】 市民のニーズや地域課題などが多様化し、増加傾向にある中、これらに的確に対応するため、関係機関が連携し、地域課題の解決に努めます。 【取組内容】 各自治協力団体に自主防犯組織を設置し、地域による自主防犯活動（パトロールなど）を行い、地域の防犯力の向上を目指します。	・自主防犯組織への補助金交付 ・既存組織実態調査の実施 ・危機管理防災課との連携による未設置自治協力団体への設立依頼 ・個人及び団体への感謝状贈呈 ・新規団体設立時の相談対応	２・概ね達成	指標(単位)：自主防犯組織の組織率（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：82／87／91／96／100 実績：81／／／／ 【評価の理由】 ・自治協力団体179団体のうち、自主防犯組織数は145団体（組織率：81.0%）で目標を概ね達成しているため。	・未設立の自治協力団体へ、引き続き、危機管理防災課と連携し設立依頼を行う。
23	生活道路整備に関わる積極的な用地提供 道路課	【目的】 市民のニーズや地域課題などが多様化し、増加傾向にある中、これらに的確に対応するため、関係機関が連携し、地域課題の解決に努めます。 【取組内容】 自治協力団体等からの生活道路の整備要望に基づき、用地が必要とされる事業においては、財産権に抵触しない範囲で、実費に掛る土地改良区決済金相当額を定額単価とし、隣接地権者の積極的な用地協力をいただき整備に努めます。	・９路線について事業を実施（うち2路線完成。３路線新規事業）	１・目標を達成	指標(単位)：市民からの積極的な用地提供により整備に着手した路線数（箇所） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：5／5／5／5／5 実績：9／／／／ 【評価の理由】 ・新規事業着手３路線を含めて９路線について事業を実施し目標を達成した。このうち事業が完成した2路線以外は継続事業のため、引き続き地域と連携しながら整備を行っていく。 ・整備完成した路線 市道５２８２号線（川口） 市道５５５６号線（南大桑）	・引き続き、用地の提供を受けながら事業を遂行していく。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）市民と行政との協働の推進

取組項目群　②　自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
24	地域の支え合いの推進 地域福祉課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 「災害時要援護者登録制度」の周知拡大と避難援助者の登録を推進します。	・自治協力団体代表者や民生委員・児童委員等の協力及び新型コロナワクチン接種支援やブロンズ会議等あらゆる機会を通じて「災害時要援護者名簿」の周知拡大と避難援助者登録を推進 ・自治協力団体、民生委員等に「災害時要援護者名簿」を提供し、見守り活動に活用	1・目標を達成	指標(単位)：災害時要援護者全登録者数に対する避難援助者の登録割合（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：41／42／43／44／45 実績：46／／／／ 【評価の理由】 ・民生委員・児童委員による高齢者世帯訪問時や、新型コロナワクチン接種支援時における要介護度認定者や障害者手帳所持者への災害時要援護者制度の周知を行った結果、災害時要援護者名簿の登録数及び避難援助者の登録者が増加した。 ・R３年度末　災害時要援護者名簿登録者　7,154人 ※208人増 上記のうち避難援助者の登録がある者　3,305人 ※432人増	・引き続き、ワクチン接種支援やブロンズ会議等あらゆる機会を通じて名簿登録及びマッチングの推進を図る。 ・名簿やモデル地区での名簿活用事例等の様々な情報を地域の避難支援等関係者に提供し、地域における避難支援体制の仕組みづくりを支援する。
25	地域福祉活動の推進 地域福祉課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 民生委員・児童委員の積極的かつ円滑な活動を推進し、地域福祉活動の充実を図ります。	・民生委員・児童委員：208人（定数212人） 主任児童委員：24人（定数24人） 地区協議会：12地区 専門部会：7部会 ・市や社会福祉協議会と連携した地域福祉活動の実施 ・福祉に関する研究協議及び調整 ・在宅要支援者及び家族に対する福祉活動の実施 ・災害時要援護者の把握及び登録周知の実施 ・各種研修の参加	2・概ね達成	指標(単位)：民生委員・児童委員の年間活動延べ日数（日） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：33,000／33,000／33,000／33,000／33,000 実績：27,152／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら活動しているため、目標とした数値には届かなかったが、市や社会福祉協議会と連携し、ひとり暮らし高齢者世帯等への訪問を適切に行うことができた。見守り世帯を訪問する場合は、前後に電話をかけ玄関先にメッセージを置く、顔を合わせる時にはマスクの着用や一定の距離置くなど、お互いの感染予防に配慮した行動を工夫しながら見守りや声かけを行った。 ▶参考 ・民生委員・児童委員数（令和4年3月31日時点）232人 ・民生委員・児童委員1人あたりの年間活動延べ日数：約117日 ※27,152日÷232人≒117日	・コロナ禍における民生委員・児童委員の日頃の活動が円滑に行えるよう、関係各課からの情報やお知らせを、会議等で積極的に周知し、市と委員の情報共有に努める。 ・民生委員・児童委員の活動が年々増加（難題化）しているため、職務に関して必要な知識及び技術を習得するため、研修等への参加を促す。 ・欠員がある地域に対して、候補者の推薦依頼を継続して行う。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）市民と行政との協働の推進

取組項目群　②　自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
26	高齢者を支え合う地域づくり 高齢介護課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 高齢者を支え合うための必要な仕組みづくりを行う地域ブロンズ会議(第2層)の設置と活動を推進します。	・第1層協議体（市介護保険運営協議会）を開催・地域で高齢者を支え合う仕組みづくりについて啓発 ・既存のブロンズ会議の運営支援 ・ブロンズ会議の発足支援 ・ブロンズ会議未設置地域の住民に趣旨説明及び意見交換、情報共有 ・社会福祉協議会（生活支援コーディネーター）及び高齢者相談センター（ブロンズ会議事務局）と定期的に意見交換及び情報共有	1・目標を達成	指標(単位)　介護予防や生活支援の取組を実施しているブロンズ会議(第2層)の数　（ 箇所 ） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：5／8／16／16／16 実績：11／／／／ 【評価の理由】 ・第2層ブロンズ会議の設置に向けて地域住民と調整し、概ね理解を得て推進したことにより、目標値の100%以上に達したため。	・生活支援コーディネーター及び高齢者相談センターとの連携を一層推進する。 ・既存のブロンズ会議の運営状況を確認し、意見交換及び情報提供を行う。 ・ブロンズ会議未設置地域の住民が「やりたい」と思うような情報を整理し、啓発を行う。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）市民と行政との協働の推進

取組項目群　②　自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
27	健康づくりの推進 いきいき健康長寿課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 市民一人ひとりが、「自分の健康は自分で守る」という意識のもとに、それぞれのライフステージに合わせた健康づくりを実践します。	・肺がん等の各種がん検診の実施 ・国保健診（特定健診）等の実施 ・受診率向上に向けた取り組みの実施	３・やや遅れている		・がん検診受診率向上のため、保健事業の機会や広報やＳＮＳ等を活用し、周知に取り組む。 ・祝日のコールセンター開設 ・web予約 ・マイナポータル事業 ・人工知能を活用したデータ分析等により、受診率向上対策を継続して実施する。

指標(単位)	肺がん検診受診率				（％）
年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）
目標	50	50	50	50	50
実績	8.5				

指標(単位)	国保健診（特定健診）受診率				（％）
年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）
目標	50	55	60	60	60
実績	32.8				

【評価の理由】
・新型コロナウイルス感染症拡大防止及び受診率向上の取組を実施しながら検診を行い、国保健診（特定検診）については、昨年度より向上した。
・肺がん検診については、対象者数の算出方法が令和3年度から変更になったため、実績値が低下したが、受診者数は増加した。
▶参考
【対象者数】R2年度・35,820人、R3年度・72,182人
【受診者数】R2年度・4,878人、R3年度・6,145人

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）市民と行政との協働の推進

取組項目群　②　自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
28	ごみの資源化・減量化の推進 資源リサイクル課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 各家庭において「５Ｒ」を推進します。ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、不要なものを買わない・もらわない（リフューズ）、修理しながら長く使い続ける（リペア）ことに取り組むとともに、再生利用（リサイクル）のために、ごみの分別を徹底します。	・ごみに関する情報をホームページやアプリを活用し、周知を実施 ・食品ロス削減啓発として『食べきりかぞ協力店』の募集を行い、５７店舗の登録あり（令和４年３月３１日現在） ・看板作成支援や交付金の交付など、リサイクル推進協力会の取り組みを支援	２・概ね達成		・リサイクル率が上昇している自治体の取り組みを調査し、導入を検討する。 ・SNSやホームページ、広報紙、アプリ等を活用し、積極的な周知を行う。 ・飲食店や食品小売店での食品ロスを削減する「食べきりかぞ」協力店の充実を図る。 ・プラスチックごみの排出抑制を図るため、マイバック利用促進などの啓発を行う。

指標(単位)	ごみの資源化率				（％）
年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）
目標	40	40	40	40	40
実績	37				

指標(単位)	一人一日当たりのごみの排出量				（ｇ）
年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）
目標	829	822	815	808	800
実績	984				

指標(単位)	プラスチック類・ゴム製品ごみ排出量				（ｔ）
年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）
目標	2,430	2,420	2,410	2,400	2,400
実績	2,546				

【評価の理由】
・指標は目標に達していないものの、ごみの資源化率は、引き続き県内第１位（全国順位は第５位）の高い水準を維持することができた。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）市民と行政との協働の推進

取組項目群　②　自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
29	周辺環境の美化活動 環境政策課、資源リサイクル課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 自宅周辺のごみ拾いや地域の清掃活動、美化活動などに積極的に取り組みます。	・公共施設等でのボランティア団体等による環境美化活動支援 ・ホームページや広報紙等での周知 ・美化新聞の作成・発刊 ・各地域一斉清掃を実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全12回の計画のうち7回中止。なお、新型コロナウイルスの感染症の防止対策をとったうえで5回実施	３・やや遅れている	指標(単位)：環境美化活動サポート団体登録数（団体） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：42／42／42／42／42 実績：39／／／／ 指標(単位)：一斉清掃への参加者数（人） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：35,400／35,400／35,500／35,500／35,600 実績：5,086／／／／ 【評価の理由】 ・新規登録団体が2団体加わり、既存登録団体の活動も継続的に行われており、環境美化活動が持続的に行われ、快適な環境づくりが推進されている。 ・各地域一斉清掃の実施は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全12回の計画のうち7回中止となった。	・広報紙やホームページを利用し更なる周知、啓発を行い、既存団体の活動の充実を図るとともに、参加者数・参加団体数の増加を目指す。 ・新型コロナウイルス感染症の感染対策を図りながら一斉清掃（快適かぞ）を実施していく。
30	合併処理浄化槽の普及促進 環境政策課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 生活排水による水質汚濁の改善のため、浄化槽整備区域内に設置された単独処理浄化槽・汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。	・合併処理浄化槽への転換の普及啓発（戸別訪問等） ・合併処理浄化槽への転換に対する補助 ・浄化槽の維持管理について広報紙に掲載	２・概ね達成	指標(単位)：浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽普及率（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：60／66／72／78／84.5 実績：52／／／／ 【評価の理由】 ・浄化槽転換補助金定数80基に対し、48基を転換補助を行い、合併浄化槽の普及率が前年度に比べ約2%増加した。 ・広報やHP、戸別訪問等で合併処理浄化槽への転換啓発や補助金制度の周知、適正な維持管理の啓発を行った。	・引き続き、広報紙等により補助金制度の周知及び転換啓発に努めていく。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）市民と行政との協働の推進

取組項目群　②　自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
31	支え合いによる子育ての推進 子育て支援課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 ファミリーサポート事業では、育児の援助を必要とする方と、これに協力できる方が利用・協力会員としてそれぞれ登録し、相互援助活動を行うことで地域での支え合いによる子育てを推進します。 また、子育てサロン事業では、子育て中の親子を対象に、子育て相談や情報交換および子育てサークル等子育てボランティアへの活動の場の提供と支援を図ります。	（ファミリーサポートセンター事業） ・制度の周知及び新規会員の募集 ・相互援助活動実施のための調整 ・保育知識の向上を図る養成講習会の開催 （子育てサロン） ・子育てサロン運営 ・親子交流イベント ・季節イベント ・子育て支援情報提供他	３・やや遅れている	指標(単位)　ファミリーサポート事業年間利用件数　（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：5,500／5,500／5,500／5,500／5,500 実績：4,358／／／／ 指標(単位)　子育てサロン利用者数　（人） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：39,500／39,500／39,500／39,500／39,500 実績：17,042／／／／ 【評価の理由】 （ファミリーサポートセンター事業） ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、長時間のお預かりは利用を断ることがあり、また、例年に比べて「習い事への送迎」や「学校行事中のお預かり」としての利用が減少したため。 （子育てサロン） ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言中及びまん延防止措置対象期間中は、イベント開催を自粛したため。	（ファミリーサポートセンター事業） ・会員の高齢化の伴い、協力できる会員数が減少していくため、新規会員の募集に努める。 （子育てサロン） ・サロン運営を支えるボランティア間の情報共有を図る。 ・新型コロナウイルス感染症の流行状況をみながら、市のイベント・集会等開催方針に従い、感染防止対策を講じて可能な限り事業を実施する。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）市民と行政との協働の推進

取組項目群　②　自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
32	ちょこっとおたすけ絆サポート事業の推進 産業振興課、高齢介護課、障がい者福祉課、子育て支援課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 市民一人ひとりが「おたすけサポーター」（有償ボランティア）として高齢者や障がいのある方、育児中の方など日常生活で困っている方を支援する取組に積極的に参加し、地域での支え合いや絆を深めます。	・市関係部局・加須市商工会と連携したちょこっとおたすけ絆サポート事業のPR ・地域に合った新たな絆サポート体制づくりの支援	３・やや遅れている	指標(単位)　サービスの年間活動時間　（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：4,000／4,000／4,000／4,000／4,000 実績：2,556 指標(単位)　サポーター登録　（人） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：90／95／100／105／110 実績：91 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、絆サポート事業の一部を休止したため。	・絆サポート券の利用拡大のための方策の検討 ・利用会員及びサポーターの拡大支援 ・取扱店の拡大支援
33	学校いきいきステーション事業の実施 学校教育課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 公立幼稚園、小・中学校応援団ボランティアの組織を活用し、学校・家庭・地域が一体となった様々な活動を展開することで、子供の健全育成に取り組みます。	・小学校を中心とした登下校の見守り ・幼稚園、学校の行事や学習にかかわる支援 ・幼稚園、学校の環境美化活動 ・中学校における部活動の指導 ・子ども110番の家の委託	２・概ね達成	指標(単位)　公立幼稚園、小・中学校応援団ボランティア登録数　（人） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：4,300／4,300／4,300／4,300／4,300 実績：3,888 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、各校（園）において学校応援団の協力をいただき、学校、家庭、地域が一体となった活動が展開できた。	・ボランティアの高齢化に伴い、新規ボランティアの募集を積極的に行っていく。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）市民と行政との協働の推進

取組項目群　②　自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
34	経験などを生かした地域貢献 生涯学習課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 「市民講師制度」を市民に紹介・周知し、制度の利用と市民講師の登録を促進します。	・市民講師情報の更新 ・生涯学習セミナーでの専門講師の積極的登用	2・概ね達成	指標(単位)　市民講師登録者数　（人） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：260／270／280／290／300 実績：236／／／／ 【評価の理由】 ・市民講師の登録者数を増やすとともに、市民講師台帳の更新（転出者等の削除）を行い、生涯学習セミナー（講座）での活用やホームページ更新を行い、地域の活性化を図ったため。	・コミュニティセンターや各文化・学習センター等に市民講師活用の働きかけを行う。 ・シニア世代が有する豊かな知識や経験を、市民講師となって地域の皆さんに伝えていただくことで、シニア世代の地域デビューを支援する。 ・市民講師の活用を進めるために、ホームページの充実や広報の発信を継続していく。
35	まちづくり市民会議の推進 市民協働推進課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 まちづくり市民会議の運営支援を推進し、市民と行政との協働による活動の実施を図ります。	・令和3年度は市民会議を不開催	4・大幅に遅れている	指標(単位)　まちづくり市民会議等への参加者数　（人） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：240／250／260／270／280 実績：0／／／／ 【評価の理由】 ・広報紙やホームページ等への掲載のほか、市内公共施設等へのチラシ配架等により周知しメンバーの募集を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり応募者寡少のため、市民会議の開催に至らなかった。	・会議を開催するためには、参加対象者の範囲、募集方法などの見直しを行い、会議が開催できるだけの参加者を集める必要がある。 ・多くの方が気軽に会議に参加できるような仕組みとする必要がある。 ・感染症対策等を講じて会議を開催できる方法を検討する。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）市民と行政との協働の推進

取組項目群　②　自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
36	ボランティア養成講座の開催 生涯学習課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 広く市民にボランティアに関する情報を提供するなど、市民がボランティア活動に参加しやすくなるよう、ボランティア養成講座を開催します。	・新たにボランティアを養成するための講座の企画・運営	２・概ね達成	指標(単位)　ボランティア講座の受講率　（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：80／80／80／80／80 実績：76／／／／ 【評価の理由】 ・市民学習カレッジ「身近な防災について学ぼう」、「介護予防サポーター養成講座」、「「手話」はじめてみませんか」を開催し、市民の「自助」と「共助」の範囲を拡大したため。	・コミュニティセンターや各文化・学習センター等に市民講師活用の働きかけを行う。 ・シニア世代が有する豊かな知識や経験を、市民講師となって地域の皆さんに伝えていただくことで、シニア世代の地域デビューを支援する。 ・市民講師の活用を進めるために、ホームページの充実や広報の発信を継続していく。
37	市民活動への参加促進 市民協働推進課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 市民との協働によるまちづくりを推進するため、「まちづくりネットワーク・かぞ」との協働運営に基づき、市民活動ステーションを拠点とした市民活動への参加促進を図ります。	・まちづくり連携組織との協働運営による、市民活動団体への様々な支援（情報提供・機器利用など）	３・やや遅れている	指標(単位)　市民活動ステーションの年間利用者数　（人） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：5,050／5,100／5,150／5,200／5,250 実績：3,234／／／／ 【評価の理由】 ・市民活動ステーションは、令和３年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動の縮小等を余儀なくされる団体が多く、利用者数は大幅に減少した。	・市民活動ステーションスタッフと連携し、施設利用者の増加及び団体の新規登録を促進する。 ・定年となった方や元気な高齢者の地域デビューに関する具体的な方策を検討し、PRする。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）市民と行政との協働の推進

取組項目群　②　自助・共助の範囲の拡大

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
38	地域活動への参加 市民協働推進課	【目的】 自分でできることは自分で行う「自助」と、自分たちの住んでいる地域のことは地域で行う「共助」の範囲をできる限り拡大します。 【取組内容】 市民主体のまちづくりを円滑に推進するため、市職員の自主的な地域活動への参加を促進します。	・協働によるまちづくり推進員56名の任命	４・大幅に遅れている	指標(単位)　まちづくり市民会議等に参加した職員数　（人） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：60／62／65／67／70 実績：0／／／／ 【評価の理由】 ・協働によるまちづくり推進員の任命は行ったものの、まちづくり市民会議への市民の応募が少ないことから市民会議の開催に至らず、市職員の地域活動への参加が図れなかったため。	・主体かつ積極的に地域のことを考え、地域に飛び出せる職員を育成するとともに、環境の整備を行う。 ・地域で楽しく気軽に活動できる職員を増やすために、簡単かつ手軽な研修会や勉強会を実施していく。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）市民と行政との協働の推進

取組項目群　③　パートナーシップの構築

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
39	自治協力団体との連携 市民協働推進課	【目的】 加須市の特性を生かした活力ある豊かな地域社会を実現するため、協働のまちづくりへのパートナーシップを構築します。 【取組内容】 自治協力団体の果たしている役割は大きく、広報紙などの配布やごみ集積所の管理など地域住民の共益活動を通して、市民に最も身近なコミュニティの場を確保する”地域自治”が行われ、さらには協働によるまちづくりを進める上での重要なパートナーとしての役割を担っています。このようなことから、各自治協力団体との連絡を緊密にするとともに、自治協力団体間及び市との連絡調整機関である自治協力団体連合会との連携を強化します。	・自治協力団体の運営補助や集会所の運営及び修繕、借地借上料等に対する補助金の交付 ・連絡協議会や自治協力団体要望事項の聞き取りなどの実施 ・自治協力団体連合会の運営の支援及び自治協力団体相互の連携・協力	1・目標を達成	指標(単位)：自治協力団体要望、連絡協議会及び役員会などの開催回数（回） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：25／25／25／25／25 実績：25／／／／ 【評価の理由】 ・連絡協議会や自治協力団体要望、連合会役員会等を予定通りに開催し、自治協力団体と市との連絡調整を細やかに実施することができたため。	・自治協力団体への加入率の低下を防ぐため、各自治協力団体との連携により加入を促進できるような取組を検討する。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（１）市民と行政との協働の推進

取組項目群　③　パートナーシップの構築

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
40	大学、高校、企業等との連携 政策調整課	【目的】 加須市の特性を生かした活力ある豊かな地域社会を実現するため、協働のまちづくりへのパートナーシップを構築します。 【取組内容】 地元の大学や高校、企業のほか、本市を拠点に活動する女子野球チームなどと幅広い連携を図りながら、産・学・官連携による事業を推進します。	・テーマに基づいた学生主体による情報収集・実践活動の実施 ・高校や大学との連携事業の実施	３・やや遅れている	指標(単位)：大学、高校、企業等との連携事業数（事業） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：31／31／31／31／35 実績：21／／／／ 【評価の理由】 ・高校、大学との連携事業については、幅広い分野にわたって計画をしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を実施できないものがあったため。	・平成国際大学、不動岡高校や花咲徳栄高校との連携事業のほか、近隣大学等との協働事業を推進する。

「協働力」の向上
基本目標　３　市民と行政との協働
施　　策　（２）行政情報の公開
取組項目群　①　市長の仕事の公表

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						取組の改善点・今後の取組内容等
41	市長交際費の公開 秘書課	【目的】 開かれた市政を推進し、市民の市政への信頼をより高めるため、市長交際費の執行内容や市長の行動日誌を公表します。 【取組内容】 市長交際費の支出内容を市ホームページで公開します。	・毎月１０日までに前月分の市長交際費の支出内容を市ホームページで公開	1・目標を達成	指標(単位)	公表回数				（回）	・引き続き、市長交際費の支出内容を市ホームページで公開していく。
					年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
					目標	12	12	12	12	12	
					実績	12					
					【評価の理由】 ・市長交際費の支出内容を市ホームページで毎月の期日までに公開できた。						
42	市長の行動日誌の公開 秘書課	【目的】 開かれた市政を推進し、市民の市政への信頼をより高めるため、市長交際費の執行内容や市長の行動日誌を公表します。 【取組内容】 市長の行動日誌を市ホームページで公開します。	・毎月１０日までに前月分の市長の行動日誌をホームページで公開	1・目標を達成	指標(単位)	公表回数				（回）	・引き続き、市長の行動日誌を市ホームページで公開していく。
					年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
					目標	12	12	12	12	12	
					実績	12					
					【評価の理由】 ・市長の行動日誌を市ホームページで毎月の期日までに公開できた。						

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（２）行政情報の公開

取組項目群　②　市政の進捗状況の公表

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
43	総合振興計画の進捗状況の公表 政策調整課	【目的】 市の仕事の方向性や進み具合を市民にわかりやすくするため、市政の進捗状況について公表します。 【取組内容】 総合振興計画に位置付けた事業の進捗状況を、市ホームページなどで公表します。	・総合振興計画に位置付けた事務事業の進捗状況について広報紙に掲載	1・目標を達成	指標(単位)　公表回数　（回） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：2／2／2／2／2 実績：2／／／／ 【評価の理由】 ・市内の公共的団体等の代表者で構成される有識者会議において、総合振興計画後期基本計画の実施状況について確認し、進捗状況を公表することができた。 ①令和３年12月広報かぞ掲載 ②ホームページ掲載	・引き続き、進捗状況を広報紙等で公表していく。
44	市長公約の進捗状況の公表 秘書課	【目的】 市の仕事の方向性や進み具合を市民にわかりやすくするため、市政の進捗状況について公表します。 【取組内容】 市長公約に掲げた事項の進捗状況を、市ホームページなどで定期的にお知らせします。	・市長公約（政策公約と市役所運営のポイント）の進捗状況を市広報紙等で公表	1・目標を達成	指標(単位)　公表回数　（回） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：1／1／1／1／1 実績：1／／／／ 【評価の理由】 ・各年度の市長公約の進捗状況を広報紙等で公開できた。	・引き続き、市長公約の進捗状況を広報紙等で公開していく。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（２）行政情報の公開

取組項目群　③　財政事情の公表

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
45	予算、決算などのわかりやすい公表 財政課	【目的】 市民に市の財政についての理解をより深めていただくため、これまで以上に予算や決算などのわかりやすい公表に努めます。 【取組内容】 予算・決算の概要などについて、見出しの工夫や説明の平易化、経年変化をグラフを用いて掲載するなど、わかりやすく公表します。	・予算、決算の概要などについて表やグラフを用い市民に分り易くなるよう公表 ・新地方公会計制度に基づく統一的な基準で財務書類4表を作成、公表 ・令和２年度から、補正予算案について、議会提出時にホームページ上に掲載	１・目標を達成	指標(単位)：予算・決算に係るホームページの年間閲覧件数（件） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：7,150／7,175／7,200／7,225／7,250 実績：11,189／／／／ 【評価の理由】 ・補正予算や財務諸表の情報などは、適宜広報紙への掲載およびホームページ上で公開することができた。令和2年度から、補正予算案について議会に提出した時点でホームページ上に掲載しているが、コロナ対策関連補正予算の増加に伴い、アクセス数が伸びたと思われる。 〔主な公表の媒体等〕 ・Ｒ３年度当初予算 広報かぞ４月号、ホームページ ・Ｒ３年度補正予算（６月、９月、１２月、２月） 広報かぞ８月号、１１月号、１月号、４月号、ホームページ ・R３年度上半期財政事情 広報かぞ１２月号 ・R２年度の財政事情 広報かぞ６月号 ・R２年度決算 広報かぞ１１月号、ホームページ 新型コロナ感染症に係る対応についてまとめた行政報告書別冊を新たに作成 ・R２年度財務諸表 広報かぞ４月号、ホームページ	・引き続き、市の予算、決算をはじめ市の財政状況等について、広報紙への掲載、ホームページ上で公開する。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（２）行政情報の公開

取組項目群　④　会議の公開の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
46	審議会などの公開の推進 総務課	【目的】 開かれた市政を推進するため、審議会などの会議の公開を推進するとともに、会議運営の透明性や公正性の確保に努めます。 【取組内容】 市政の透明性を確保するため、「審議会等の会議の公開及び会議録の公表に関する要綱」に基づき、会議の公開を推進します。	・審議会等の会議の開催案内の事前公開の周知徹底 ・各課によるホームページへの開催案内の掲載 ・総務課による掲示場への開催案内の掲示	1・目標を達成	指標(単位)：開催案内の事前公開実施率（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：98／98／100／100／100 実績：98.2 【評価の理由】 ・実績値が目標値を上回ったため、本評価とした。 ・実施率：98.2%（会議開催日の7日前までに開催案内を公開した件数275件／書面審議を除いた会議開催件数280件）	・引き続き、開催案内の事前公開が徹底されるよう働きかけ、実施率の維持向上を図る。
47	議事録などの公表の推進 総務課	【目的】 開かれた市政を推進するため、審議会などの会議の公開を推進するとともに、会議運営の透明性や公正性の確保に努めます。 【取組内容】 市政の透明性を確保するため、「審議会等の会議の公開及び会議録の公表に関する要綱」に基づき、会議の公開を推進します。	・各課によるホームページへの会議録の掲載 ・総務課による情報公開コーナーへの会議録の配置	1・目標を達成	指標(単位)：会議終了後20日以内に議事録を公表した実施率（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：95／95／95／95／95 実績：98.7 【評価の理由】 ・実績値が目標値を上回ったため、本評価とした。 ・実施率：98.7%（会議終了後20日以内に会議録を公表した件数306件／会議開催件数310件）	・引き続き、会議録の公表が速やかに行われるよう働きかけ、実施率の維持向上を図る。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（３）絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群　①　協働推進プロジェクトの推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
48	家族・地域の絆推進運動の展開 市民協働推進課	【目的】 家族・地域の絆推進運動を展開します。また、行政、学校及び地域が一体となった市を挙げたあいさつ運動を推進します。 【取組内容】 市民一人ひとりが、あいさつ、えがお、おもいやりの基本運動を実践し、市に関わりのあるすべての団体が、絆マーク・文言・冠の活用を図り、絆推進運動を展開します。	・家族・地域の絆推進運動推進推進部会の開催 ・ポスターの募集 ・アンケート調査の実施	2・概ね達成	指標(単位)：絆マークを見たことがある市民の割合（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：91／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、表彰式等は中止となったが、啓発品の配布や掲示等を行ったことにより、可能な範囲で市民に家族や地域の絆の大切さを訴えることができたため。	・絆事業表彰の対象要件や選出方法などをより分かりやすくし、部会の円滑な運営に努める。 ・ポスターコンクール等入賞作品のより多様な活用方法を検討する。 ・より一層の全市的な運動の展開につながるよう、アンケート結果などをもとに事業の見直しを図る。
49	あいさつ運動の推進 学校教育課	【目的】 家族・地域の絆推進運動を展開します。また、行政、学校及び地域が一体となった市を挙げたあいさつ運動を推進します。 【取組内容】 学校・家庭・地域・行政機関が一体となった、市を挙げたあいさつ運動を展開します。	・新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、各校（園）の実態に応じた「あいさつ運動」を実施 ・各校（園）における「あいさつ運動」のぼり旗、啓発ポスターの掲載 ・加須市青少年育成推進員によるあいさつ運動（３校にて実施）	2・概ね達成	指標(単位)：地域の方にあいさつできる児童生徒の割合（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：90／90／90／90／90 実績：76／／／／ 【評価の理由】 ・各小中学校において、実態に応じたあいさつ運動を行った結果として、目標値の80%を超える児童生徒が「あいさつができる」と回答したことから概ね達成とした。	・新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、引き続き、各学校（園）における「あいさつ運動」を活性化させていく。 ・駅街頭におけるキャンペーンの実施について、規模等を検討しながら実施していく。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（３）絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群　②　地域の一体化の促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
50	加須市民の日の充実 総務課	【目的】 各地域の様々なイベント等を支援するなど、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図ります。 【取組内容】 市の取組として、市民の日記念表彰式や公共施設の無料化等を行い、また、市民の取組として、民間協賛事業の展開等を行うなど、市と市民が共に市民の日にちなんだ事業を展開します。	・市民の日記念事業として、コロナ禍を踏まえ、小規模化した記念式典、公共施設等無料化、協賛事業を実施 ・記念式典で「1年を振り返る」を上映 ・「私の３２３」を募集、紹介 ・各課による感謝状の贈呈	３・やや遅れている		・市民の日記念のイベント及び協賛事業等について広く広報することで、認知度を上げていく。 ・関係課と連携して充実した記念事業となるよう協力を求める。 ・新型コロナウイルス感染症対策をさらに進めて記念事業が実施できるよう努める。

指標(単位)	「市民の取組」協賛事業への参加団体数				（回）
年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）
目標	30	30	30	30	30
実績	22				

指標(単位)	市民の日記念事業への参加者数				（人）
年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）
目標	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
実績	19,915				

【評価の理由】
・新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも、協賛事業への参加団体は令和２年度に比べ増加はしたが目標値の8割以上に達していない。また、市民の日記念事業への参加者についても、新型コロナウイルス感染症による制限がかかったことにより目標値の8割以上に達していないため、2つの指標を総合的に判断し本評価とした。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（３）絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群　②　地域の一体化の促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
51	市の花・市の木の普及 総務課、まちづくり課	【目的】 各地域の様々なイベント等を支援するなど、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図ります。 【取組内容】 市民と協働による市の花、市の木の植樹等を推進するとともに、市内における見どころを関係課等と連携して整備、紹介します。また、市の花、市の木が加須市のＰＲに有効に活用できるものとして、各公共施設等への植樹、外部への情報を発信する際の封筒や資料への掲載を積極的に行います。	・市の花コスモスについて、全自治協力団体及び市内公共施設にコスモスの種の配付希望を確認し、希望のあった自治協力団体及び市内公共施設にコスモスの種を配付。加須未来館周辺の休耕田等に景観形成作物（コスモス）の栽培を実施 ・市の木サクラについて、公共施設に東京2020オリンピック・パラリンピック記念イベントとして、10本の植樹を実施。その他の公共施設へ植樹の希望を募る。サクラの開花状況を市のホームページへ掲載	３・やや遅れている	指標(単位)　市の花コスモスの栽培面積　（㎡） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：12,500／12,500／12,500／12,500／12,500 実績：10,675／／／／ 指標(単位)　市の木サクラの植栽本数　（本） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：2／2／2／2／2 実績：0／／／／ 【評価の理由】 ・市の花コスモスの栽培面積については、実績が目標の８割を超え、市内各所及び多くの公共施設でコスモスが咲き、街並みに彩りを加え、市民に親しんでいただくことができた。また、加須未来館への集客の向上及び大越地区の生産調整の推進を図ることができた。 ・市の木サクラについては、東京２０２０オリンピック・パラリンピック記念イベントとして１０本の植樹を行うことができたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止とのこともあり、市民との協働による植樹は実施できなかった。 ・2つの指標を総合的に判断し、本評価とした。	・市の花コスモスについては、各自治協力団体で栽培してもらえるように働きかける。希望する自治協力団体へ種を配布し、市内各所により多くのコスモスが咲くよう努めていく。より多くの小、中学等に栽培していただけるよう、積極的に働きかける。農業振興課等と連携を図り、栽培面積の拡大を推進する。 ・市の木サクラについては、ＰＲを進め、関係課と連携しながら植樹を行う。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（３）絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群　②　地域の一体化の促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
52	「うどん」と「こいのぼり」によるまちおこし 観光振興課	【目的】 各地域の様々なイベント等を支援するなど、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図ります。 【取組内容】 各種イベントで「うどん」と「こいのぼり」を活用し市のＰＲを図るために庁内各課における各種事業での活用を推進します。また、公共施設や民間事業所等でのこいのぼり掲揚を推進するとともに加須手打うどん会、加須市鯉幟組合の活動を支援します。	・各種イベントでのうどんとこいのぼりの活用 ・庁内関係課による活用事業の進行管理 ・公共施設や加須駅構内等へのこいのぼりの掲揚・装飾 ・市内スーパー等に生麺などの割引販売等の協力依頼	３・やや遅れている	指標(単位)：うどんとこいのぼりを活用した取組数（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：70／75／80／85／90 実績：43／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が中止となったため。	・加須市のシンボルである「うどん」と「こいのぼり」を活用し交流人口の拡大を図る。 ・近隣自治体及び市内商店と連携し「加須市のうどん」のPRを図る。 ・市内で一年を通して、こいのぼりが見られるまちづくりを推進する。
53	商店街や地域商店の賑わいづくりの支援 産業振興課	【目的】 各地域の様々なイベント等を支援するなど、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図ります。 【取組内容】 商店街や地域商店に活気や賑わいを創出する事業の支援を図ります。	・商店街や地域商店に活気や人を呼び込むにぎわい創出イベントへの支援	４・大幅に遅れている	指標(単位)：商店街にぎわい創出イベント集客数（人） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：36,000／36,500／37,000／37,500／38,000 実績：850／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント等の中止により参加者数が伸び悩んだため。	・商工会と連携し、イベント等における集客や売上の向上を図る。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（３）絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群　②　地域の一体化の促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
54	市民まつりなどの支援 観光振興課	【目的】 各地域の様々なイベント等を支援するなど、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図ります。 【取組内容】 各地域市民まつり実行委員会が行う会議及びイベントの運営や開催を支援します。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、各地域の実行委員会により検討され全地域で中止	4・大幅に遅れている	指標(単位)：市民まつり参加申込団体数（団体） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：290／290／290／290／290 実績：0／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、各地域の実行委員会により検討され全地域で中止となったため。	・各地域の特色を生かしながら事業内容の充実を図るとともに、地域間交流及び各種団体相互の交流を促進させ、コミュニティ醸成の寄与に努める。 ・各地域の市民まつりの事前準備及び当日の運営については、できるだけ多くの市民や団体の参画を得ながら実施する。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催する。
55	郷土かるた大会の充実 生涯学習課	【目的】 各地域の様々なイベント等を支援するなど、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図ります。 【取組内容】 「郷土かるた」を活用し、伝統・文化・歴史に触れながら、郷土への誇りと愛着を深めます。	・大会開催へ向けて、関係者からの意見集約をとった結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場内での感染防止対策が厳しいと判断し、中止	4・大幅に遅れている	指標(単位)：加須市郷土かるた大会の参加人数（人） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：520／520／520／520／520 実績：0／／／／ 【評価理由】 ・大会開催へ向けて準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場内での感染防止対策が厳しいと判断し、中止としたため。	・大会開催方法の見直しを図る。 ・本来の目的を再確認し、加須市郷土かるたの有効活用方法を各小学校と連携を図る。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（３）絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群　③　家庭・地域活動への参加促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
56	自治協力団体加入促進・組織活性化の支援 市民協働推進課	【目的】 様々な機会を通じて市民への広報啓発を行い、市民の家庭や地域活動への参加を促進します。 【取組内容】 自治協力団体とともに「自治協力団体加入促進マニュアル」を活用し、市民に積極的に自治協力団体への加入を働きかけるとともに、関係機関と締結した「自治協力団体への加入促進、ごみの分別及び空家対策に関する協定」に基づき、アパート入居者等を中心とした加入促進を行います。また、加入しやすい自治協力団体となるように、「自治協力団体運営マニュアル」を活用し、自治協力団体の運営が誰にも分かり易く、透明性があり、安定的に行われるよう組織の活性化を支援します。	・自治協力団体加入促進マニュアルを活用した加入促進の実施 ・転入者へのチラシやポスター等を使用した加入啓発の実施 ・自治会活動の内容を周知するために広報紙に掲載	３・やや遅れている	指標(単位)：自治協力団体加入率（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：80.2／80.3／80.4／80.5／80.6 実績：78.3／／／／ 【評価の理由】 ・自治協力団体と市で連携し加入促進に向けた啓発活動を行ってきたが、目標値を達成することができなかったため。	・自治会加入率の低い地域において、重点的に対策を取る必要がある。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（３）絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群　③　家庭・地域活動への参加促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
57	生涯学習機会の提供 生涯学習課	【目的】 様々な機会を通じて市民への広報啓発を行い、市民の家庭や地域活動への参加を促進します。 【取組内容】 市民の誰もが参加しやすく交流が図れるような講座や学習ニーズに応じたオンライン講座などを行い、家庭教育や地域活動への参加を促します。	・生涯学習セミナーの企画・運営 ・加須市生涯学習市民企画委員会の開催 ・市民学習カレッジ募集号（ライフステージ）の発行 ・生涯学習情報「やってみまんせんか」の発行	1・目標を達成	指標(単位)：市民学習カレッジの受講率（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：80／80／80／80／80 実績：83／／／／ 【評価の理由】 ・生涯学習を推進するため、市民ボランティア（市民企画委員「アシストかぞ」）と協働で、生涯学習課主催又は共催のセミナーとして６３講座を企画し、４２講座開催し、市民の家庭や地域活動への参加を促進したため。（２１講座については、新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、中止とした。）	・市民企画委員「アシストかぞ」との協働によりバラエティ豊かなセミナー（講座）を実施（企画・運営）するだけでなく、市民のニーズに合ったセミナー（講座）が実施できるよう情報収集を行うことで、更なる講座の質の向上を図っていく。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（３）絆による「ふるさとづくり」と地域コミュニティの活性化

取組項目群　④　各種団体などの主体的運営と参画

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
58	ボランティアの育成、ＮＰＯ・ボランティア活動の拡大 市民協働推進課	【目的】 市の関与を受けている団体などにおいては、事務や管理運営の自立性の向上に取り組み、それぞれの団体などの設置目的に沿って主体的に活動します。 【取組内容】 市民の自主的・主体的な地域市民活動への参加促進を図り、協働によるまちづくりを促進します。また、市民活動団体の育成及び活動支援を行います。	・団体の成長に合わせた地域市民活動支援補助金の交付（2団体） ・市民活動ステーションを拠点とした各団体への活動支援	1・目標を達成	指標(単位)：地域市民活動団体数（団体） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：78／80／82／84／86 実績：80／／／／ 【評価の理由】 ・補助金の交付や市民活動ステーションによる支援を実施したことにより、地域市民活動団体数が目標値を達成したため。	・引き続き、地域市民活動支援補助金の申請受付及びNPO設立認証事務等を実施する。 ・人と人とが接触する機会が取りにくいコロナ禍とあっては、市民活動の実施について様々な工夫が必要となる。
59	事務執行体制の自立 業務改善課	【目的】 市の関与を受けている団体などにおいては、事務や管理運営の自立性の向上に取り組み、それぞれの団体などの設置目的に沿って主体的に活動します。 【取組内容】 市（職員）が事務局機能を果たしている団体などについて、より主体性を持ち、活性化が図れるようにするため、予算・決算、出納などの事務を自ら処理できるように、適宜、助言等を行います。	・関係書類の確認及び実地査察を6～8月に実施（財政課、総務課、会計課） ・実地査察において補助団体等の関係団体における職員としての関わり及び不正を防止するための体制及び補助金の適切な取扱状況を確認	2・概ね達成	指標(単位)：市職員が会計事務に携わっている団体数（団体） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：85／80／75／70／65 実績：89／／／／ 【評価の理由】 ・団体の自主運営を促進するとともに、職員が団体の会計事務等に関与せざるを得ない場合には、所管課による団体会計事務の徹底や所管課以外の課による関係書類の確認及び実地査察を行い、事故の未然防止に努めたことから、目標としていた会計に市職員が関与している団体について、概ね達成することができたことから本評価とした（89団体/総数1,025団体＝8.7%）。	・市職員が会計事務に関与せざるを得ない団体については、事業内容等を検討し、これを整理統合して団体の自立を図るように助言や指導をする。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（４）自治体間交流の推進

取組項目群　①　地域社会の発展と振興

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
60	姉妹都市等との住民交流の促進 総務課	【目的】 自治体間で教育、文化、スポーツなどの活動を通じて自治体間交流を推進することで相互理解と友好親善を深め、地域社会の発展と振興を図ります。 【取組内容】 防災協定関係等にある自治体や、県内外の自治体との間で、教育、文化、スポーツなどの交流活動を行うことにより、相互の理解と友好親善を深め、地域社会の発展と振興を図ります。また、姉妹都市等との住民交流を促進するため、該当する事業に対して補助金を交付します。	・姉妹都市（栃木県さくら市）、友好都市（福島県双葉町）と住民交流の推進を図るため、親善及び交流を目的とする事業に補助金を交付（実績なし）。また、補助金について、市のホームページ、広報紙等で周知 ・姉妹都市、友好都市との主な交流活動について、実績を把握し、交流活動を促進	３・やや遅れている	指標(単位)：姉妹都市・友好都市との交流活動実施回数（回） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：15／15／15／15／15 実績：５／／／／ 指標(単位)：姉妹都市・友好都市提携自治体数（市町村） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：３／３／３／３／３ 実績：２／／／／ 【評価の理由】 ・姉妹都市・友好都市交流事業補助金については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、使用団体はなかった。 ・姉妹都市、友好都市との交流活動実施が５回あり、人権・男女共同参画課、総務課所管でさくら市を訪問するツアーの開催も企画されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となってしまった。 ・2つの指標を総合的に判断し、本評価とした。	・引き続き、新型コロナウイルス感染症による影響が考えられるが、姉妹都市・友好都市交流事業補助金について、多くの団体に交流活動を実施してもらえるよう市のホームページ等で周知する。 ・姉妹都市、友好都市との交流を深めるとともに、新たな姉妹都市について検討を進める。

「協働力」の向上

基本目標　３　市民と行政との協働

施　　策　（５）国際交流の推進

取組項目群　①　多文化共生社会の構築

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
61	外国人住民等への支援の充実 総務課	【目的】 市内在住の外国人が暮らしやすい環境の整備や市民の国際理解を深めていきます。 【取組内容】 海外日本語教師のホームステイ先を斡旋する「ワンナイトステイ事業」や、国際交流を行う市内団体への支援を行います。また、外国人住民が地域社会の一員として共に暮らしていくために必要な支援等を行います。	・ワンナイトステイ事業の実施 登録者：５人 新型コロナウイルス感染症拡大によりオンライン交流を実施 実施者：１人・１回 ・多言語によるごみカレンダーなどの情報提供資料の作成（各課で対応） ・日本語教室活動場所の支援等	３・やや遅れている	指標(単位)：多言語による情報提供資料数（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：59／60／61／62／63 実績：56／／／／ 【評価の理由】 ・ワンナイトステイ事業については、新型コロナウイルス感染症拡大により、オンラインでの交流のみとなってしまった。 ・多言語翻訳による情報提供資料については、概ね達成であるが、それ以外の支援に関して充実が図れていないので「やや遅れている」とした。	・多言語翻訳ツールを導入し、チラシ等１０言語翻訳閲覧ができる仕組みを確立する。 ・感染状況を確認しながら、県と連携してワンナイトステイ事業を実施していく。 ・外国人住民支援団体等へのサポート体制の充実を図る。 ・（仮称）加須市国際交流協会の設立に向けて検討する。

「市役所力」の向上

基本目標　４　行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施　　策　（１）行政手続オンライン化の推進

取組項目群　①　行政手続などの簡便化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
62	押印、書面規制の見直し 業務改善課	【目的】 市民が便利さを実感できるサービスを提供するために、行政手続等の見直しを積極的に進め、オンライン化の拡大を図ります。 【取組内容】 市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るため、市の規定に基づく行政手続については、原則として、押印を廃止するという考え方のもと見直しを行うとともに、添付書類の見直しも実施します。	・押印が残っている行政手続について、押印の必要性を検証 ・押印が真に必要な場合を除き、押印を廃止（関係例規を改正）	2・概ね達成	指標(単位)：押印の見直しを行った行政手続の割合（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：90／100／100／100／100 実績：81／／／／ 【評価の理由】 ・令和2年度に引き続き行政手続における押印の必要性について検証した結果、押印の見直しを行った行政手続の割合が81％（対前年14ポイント上昇）となったことから本評価とした。	・市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るため、引き続き行政手続等における押印見直しを進める。
63	オンライン化の推進 業務改善課	【目的】 市民が便利さを実感できるサービスを提供するために、行政手続等の見直しを積極的に進め、オンライン化の拡大を図ります。 【取組内容】 市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るため、埼玉県市町村電子申請システムなどを活用し、行政手続のオンライン化を推進するとともに、利用促進を図ります。	・R4年2月及び3月を電子申請推進月間と定め、広報紙等において電子申請・届出サービスの利用を促進 ・図書貸出予約、地方税申告手続（eLTAX）、入札参加資格審査申請等の手続きをオンライン化（国が促進するオンライン利用対象14手続のうち、10手続をオンライン化） ・ｵﾝﾗｲﾝ化率の高い手続き -図書貸出予約 手続総件数：94,173 うちｵﾝﾗｲﾝ件数：67,573 ｵﾝﾗｲﾝ化率：72% -地方税申告手続(eLTAX) 手続総件数：23,308 うちｵﾝﾗｲﾝ件数：12,847 ｵﾝﾗｲﾝ化率：55%	1・目標を達成	指標(単位)：行政手続等に占めるオンライン利用の割合（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：50／51／52／53／54 実績：59.8／／／／ 備考：目標値の対象手続 ①図書館の図書貸出予約等 ②公共施設予約 ③粗大ごみ収集の申込 ④水道使用開始届等 ⑤地方税申告手続(eLTAX) ⑥入札 ⑦入札参加資格審査申請等 ⑧研修・講習・各種イベント等の申込 ⑨犬の登録申請・死亡届等 ⑩衆議院・参議院等の不在者投票用紙の請求 【評価の理由】 ・目標としていた行政手続きなどのオンライン利用率の向上を達成することができたため本評価とした。	・広報紙やホームページ等を利用して電子申請・届出サービスの利用促進を図る。 ・オンライン化については、情報化推進計画でさらに検討及び推進をしていく。

「市役所力」の向上

基本目標　４　行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施　　策　（１）行政手続オンライン化の推進

取組項目群　①　行政手続などの簡便化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
64	公共施設インターネット予約の推進 市民協働推進課、業務改善課	【目的】 市民が便利さを実感できるサービスを提供するために、行政手続等の見直しを積極的に進め、オンライン化の拡大を図ります。 【取組内容】 スマートフォンや家庭のパソコンからインターネットを利用して、24時間365日、公共施設の予約状況の確認や予約の申込みを可能にします。	・公共施設予約管理システムの令和４年４月１日からの運用開始に向けたシステムの構築	２・概ね達成	指標(単位)：インターネット予約可能施設におけるインターネット予約の割合（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：導入／50%／55%／60%／65% 実績：導入／／／／／ 【評価の理由】 ・加須市公共施設予約管理システムの構築に着手し、令和４年４月１日から当該システムの運用が開始されているため。	・加須市公共施設予約管理システム導入についての広報および操作方法等の周知 ・システム利用率の向上に向けた周知・広報

「市役所力」の向上

基本目標　４　行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施　　策　（１）行政手続オンライン化の推進

取組項目群　②　マイナンバー制度の利活用

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
65	マイナンバーカードの普及促進 市民課	【目的】 マイナンバーカードを有効活用することで、利便性の高い行政手続のオンライン化を推進します。 【取組内容】 マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービス等を推奨することにより、マイナンバーカードの普及促進を図ります。	・広報紙や市HP、窓口封筒への案内掲載、窓口でコンビニ交付案内チラシを配布 ・マイナンバーカード交付時にキオスク端末操作手順説明書を配布することによって、コンビニ交付の簡便性をPR	３・やや遅れている	指標(単位)：マイナンバーカード交付率（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：67／100／100／100／100 実績：35.4／／／／ 【評価の理由】 ・総務省の普及キャンペーン（マイナポイント第2弾等）や、市のHP・広報紙等で周知を行っており、前年度と比較してマイナンバーカードの交付枚数は増加したが、市のマイナンバーカード交付率は目標を-31.6%下回り、全国の交付率43.3%（R4.4.1現在）と比較しても下回った。	・広報紙やHP、窓口封筒への案内掲載、窓口でコンビニ交付案内チラシを配布 ・マイナンバーカードの出張申請を行うと共に、コンビニ交付について周知を図っていく。
66	マイナンバーカード・マイナンバーを利用したサービスの拡充 業務改善課	【目的】 マイナンバーカードを有効活用することで、利便性の高い行政手続のオンライン化を推進します。 【取組内容】 マイナンバーカード・マイナンバーを利用したサービスを導入することにより、市民の利便性の向上や事務の効率化を図ります。	・マイナンバー制度の広報 ・マイナポイントの申込支援 ・健康保険証へのマイナンバーカードの活用の推進	２・概ね達成	指標(単位)：マイナンバーカードを活用し、サービスを拡充した国及び市独自の事例数（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：5／5／7／7／8 実績：5／／／／ 指標(単位)：国が示す独自利用事務のうち、市が導入した事例（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：18／19／19／20／20 実績：17／／／／ 【評価の理由】 ・マイナンバーカードを活用した事例数については、コンビニ交付、マイナポータル（ぴったりサービス）の運用、図書館利用者カード化、マイナポイント制度、健康保険証利用の計5件でマイナンバーカードを活用し、独自利用事務については、17事務について導入しているため、本評価とした。	・マイナンバーカードの普及促進を図る。 ・マイナンバー制度の周知を図る。 ・マイナポイント第２弾の周知及び手続支援を実施する。 ・健康保険証へのマイナンバーカードの活用を推進する。 ・公金受取口座を活用した給付を実施する。 ・独自利用事務を推進し、添付書類の削減により市民の利便性の向上と行政の効率化を図る。

「市役所力」の向上

基本目標　４　行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施　　策　（２）窓口サービスの向上

取組項目群　①　気持ちの良い窓口づくり

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
67	職員の接遇力の向上 職員課	【目的】 職員の接遇力の向上や窓口での待ち時間対策などに取り組み、市役所を訪れる市民に気持ち良さを感じていただけるような窓口づくりを進めます。 【取組内容】 研修や「加須市職員接遇の手引き」の活用などにより、職員の接遇力の向上を図るとともに、市民に分かりやすい説明を行い、サービス提供者として市民から信頼され、親しまれる職員を目指します。	・全職員を対象に、接遇能力研修を隔年実施（令和3年度は未実施） ・窓口対応等実態調査の実施 ・市長への手紙等に寄せられた接遇に関する苦情等に対し、事実確認を踏まえた適正な対応	２・概ね達成	指標(単位)：窓口対応等実態調査における「職員の対応」についての満足度の割合（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：80／－／80／－／80 実績：81 指標(単位)：市長への手紙・メールに寄せられた職員に関する苦情件数（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：0／0／0／0／0 実績：11 【評価の理由】 ・住民対応の場面で配慮すべき意識と取るべき行動のあり方について学ぶ研修を隔年で実施し、知識と意識の両面から、粘り強く接遇能力の向上を図り、窓口対応等実態調査で成果が出ているため。	・窓口対応等実態調査を隔年で実施する。 ・接遇能力研修については、職員への負担や研修全体の優先度を鑑み、隔年で実施する。
68	職員のあいさつの励行 職員課	【目的】 職員の接遇力の向上や窓口での待ち時間対策などに取り組み、市役所を訪れる市民に気持ち良さを感じていただけるような窓口づくりを進めます。 【取組内容】 「明るく、元気に、自分から」を合言葉に、職員のあいさつを励行します。	・全職員を対象に、接遇能力研修を隔年実施（令和3年度は未実施） ・加須市あいさつ運動後期集中強化期間の取組として活動する駅での街頭キャンペーンに、新規採用職員研修（後期）の位置づけで参加予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止	４・大幅に遅れている	指標(単位)：あいさつ運動（駅での街頭キャンペーン）に参加した新規採用職員（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：0 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、駅での街頭キャンペーンが中止となったことから本評価とした。 ・住民対応の場面で配慮すべき意識と取るべき行動のあり方について学ぶ研修を隔年で実施し、知識と意識の両面から、粘り強く接遇能力の向上を図っている。	・窓口対応等実態調査を隔年で実施する。 ・接遇能力向上研修については、職員への負担や研修全体の優先度を鑑み、隔年で実施する。 ・新規採用職員研修（後期）の位置づけで、引き続き、加須市あいさつ運動後期集中協会期間の取組で活動する駅での街頭キャンペーンに参加する。

「市役所力」の向上

基本目標　４　行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施　　策　（２）窓口サービスの向上

取組項目群　①　気持ちの良い窓口づくり

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
69	窓口や待合フロアなどの環境の向上 市民課、業務改善課	【目的】 職員の接遇力の向上や窓口での待ち時間対策などに取り組み、市役所を訪れる市民に気持ち良さを感じていただけるような窓口づくりを進めます。 【取組内容】 来庁者が不安なく手続きできるよう、窓口や待合フロアの環境改善に努めます。	・行政情報広告放映モニターを活用した情報発信による待ち時間の有効活用 ・受付番号自動発券機システムによる窓口一括管理 ・各曜日や時間ごとの窓口混雑状況や、窓口以外で行える手続き等の案内を、市のホームページに掲載 ・申請の待ち時間や手続きの間に子どもに本を読んで過ごしてもらい、子どもを連れた方がゆっくりと手続きすることができるよう、「こどものほん」コーナーを設置	２・概ね達成	指標(単位)：窓口対応等実態調査「待合スペースの過ごしやすさ」満足度割合（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：75／－／80／－／85 実績：66.4 指標(単位)：窓口受付マニュアルの整備率（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：100 【評価の理由】 ・窓口マニュアルや来庁者向けナビゲーションシートの継続的な見直しを行ったことにより、目標を達成することができた。	・来庁者向けナビゲーションシートの継続的な見直しを行っていく。

「市役所力」の向上

基本目標　　４　行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施　　策　　（２）窓口サービスの向上

取組項目群　　②　わかりやすい窓口づくり

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
70	庁舎総合案内の充実 総務課、業務改善課	【目的】 市の仕事は様々で、仕事を担当する窓口も多岐にわたるため、案内表示の工夫や適切な声かけなど、市役所を訪れる市民にわかりやすい案内に努めます。 【取組内容】 来庁者に適切な案内を行えるよう、総合案内に従事する職員向けの「案内先一覧表」を作成し活用します。また、来庁者に積極的に声かけをするとともに、分かりやすい庁舎の案内表示になるよう、適宜、改善します。	・総合案内用ファイルの案内資料ファイルを適宜更新 ・課名看板下の業務内容の表示を適宜更新 ・組織改正による課名表示の変更等 ・庁舎案内看板の表示見直し修正 【コロナ対策】 ・窓口カウンターにアクリルプレートを設置。 ・来庁者が入館時に検温及び手指消毒を容易にできるよう入館、退館の導線を確保	２・概ね達成	指標(単位)：窓口対応等実態調査「案内表示の分かりやすさ」満足度割合（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：80／－／80／－／80 実績：69.7／／／／ 指標(単位)：総合案内来庁者問合せ対応使用案内図の見直し（回） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：12／12／12／12／12 実績：13／／／／ 【評価の理由】 ・「案内表示のわかりやすさ」満足度割合について、前回（令和元年度：66.9%）より2.8%上昇し、さらに、案内図や総合案内の改定等の見直しについても目標を超えているため、概ね達成とした。 また、新型コロナウイルス感染症予防のため、出入口の導線表示も実施した。	・総合案内用のファイルの内容を確認し、適宜必要な情報に更新していく。 ・総合受付カウンターの上及びポスター等の情報を最新のものになるよう各課へ更新を促す。 ・各課名案内看板の設置、更新作業を行う。 ・総合案内の運営方法について検討をする。 【コロナ対策】 ・新型コロナウイルス感染症の状況に合わせて、適宜対策を行う。

「市役所力」の向上

基本目標　４　行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施　　策　（２）窓口サービスの向上

取組項目群　③　手続時間の短縮化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						取組の改善点・今後の取組内容等
71	窓口受付マニュアルなどの整備・活用 業務改善課	【目的】 市民の多様なニーズに応じた相談・手続についての効率的な窓口対応や、ＩＣＴを活用した効果的な行政サービスによる手続時間の短縮を図ります。 【取組内容】 担当者が不在の場合も、来庁者を待たせずスムーズに応対できるよう、すべての業務ごとに「窓口受付マニュアル」を整備します。なお、よりスムーズで的確な窓口対応を行うため、「受付ナビゲーションシート」を導入します。	・窓口受付マニュアルの追加作成 ・既存マニュアルの改訂	1・目標を達成	指標(単位)	窓口受付マニュアルの整備率				（％）	・既存マニュアルの内容を確認し、随時更新する。 ・マニュアルの適正化により、ミスのない業務推進に努める。
					年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）	
					目標	100	100	100	100	100	
					実績	100					
					【評価の理由】 ・各課において窓口業務を点検し、全ての窓口受付マニュアルを整備できたことから、本評価とした。 ・Ｒ３年度マニュアル作成数：２３８件						
72	押印、書面規制の見直し【再掲(-62)】 業務改善課	【目的】 市民の多様なニーズに応じた相談・手続についての効率的な窓口対応や、ＩＣＴを活用した効果的な行政サービスによる手続時間の短縮を図ります。 【取組内容】 市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るため、市の規定に基づく行政手続については、原則として、押印を廃止するという考え方のもと見直しを行うとともに、添付書類の見直しも実施します。			指標(単位)	押印の見直しを行った行政手続の割合				（％）	
					年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）	
					目標	90	100	100	100	100	
					実績						

「市役所力」の向上

基本目標　４　行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施　　策　（２）窓口サービスの向上

取組項目群　③　手続時間の短縮化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						取組の改善点・今後の取組内容等
73	オンライン化の推進　【再掲（-63）】 業務改善課	【目的】 市民の多様なニーズに応じた相談・手続についての効率的な窓口対応や、ＩＣＴを活用した効果的な行政サービスによる手続時間の短縮を図ります。 【取組内容】 市民の利便性の向上及び業務の効率化を図るため、埼玉県市町村電子申請システムなどを活用し、行政手続のオンライン化を推進するとともに、利用促進を図ります。			指標(単位)	行政手続等に占めるオンライン利用の割合　（％）					
					年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）	
					目標	50	51	52	53	54	
					実績						
					備考	目標値の対象手続 ①図書館の図書貸出予約等 ②公共施設予約 ③粗大ごみ収集の申込 ④水道使用開始届等 ⑤地方税申告手続(eLTAX) ⑥入札 ⑦入札参加資格審査申請等 ⑧研修・講習・各種イベント等の申込 ⑨犬の登録申請・死亡届等　⑩衆議院・参議院等の不在者投票用紙の請求					
74	公共施設インターネット予約の推進【再掲（-64）】 市民協働推進課、業務改善課	【目的】 市民の多様なニーズに応じた相談・手続についての効率的な窓口対応や、ＩＣＴを活用した効果的な行政サービスによる手続時間の短縮を図ります。 【取組内容】 スマートフォンや家庭のパソコンからインターネットを利用して、24時間365日、公共施設の予約状況の確認や予約の申込みを可能にします。			指標(単位)	インターネット予約可能施設におけるインターネット予約の割合　（％）					
					年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）	
					目標	導入	50%	55%	60%	65%	
					実績						

「市役所力」の向上

基本目標　　４　行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施　　策　　（２）窓口サービスの向上

取組項目群　　④　市民サービス窓口の拡充

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
75	証明書などの発行窓口の拡充 市民課	【目的】 仕事などの理由で市役所に来られない方や一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯の方などが、より身近なところで証明書などの交付を受けられるようにします。 【取組内容】 市民の身近な地域でサービスが受けられるよう、コンビニエンスストアを活用した証明書等の発行を推進します。	・コンビニ交付証明書交付センターシステム更改対応 ・コンビニ事業者マルチコピー機更改に伴う試験 ・広報紙や市HP、窓口封筒、行政情報広告放映モニターを活用した周知 ・案内チラシの公共施設設置による周知 ・案内ポスターを作成し、市内コンビニ等に設置 ・キオスク端末操作手順書をマイナンバーカード交付時に配布	1・目標を達成	指標(単位)：住民票・印鑑証明書等のコンビニ交付の発行割合（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：8／10／12／14／15 実績：8.95／／／／ 【評価の理由】 ・目標としていたコンビニ交付の発行割合については、コンビニ交付サービスの周知とマイナンバーカードの取得促進を図ったため、目標を達成することができた。	・コンビニ交付の利用促進を行う。 ・継続的にコンビニ交付サービスの周知を行い、利用率の向上を図る。 ・マイナンバーカードの申請方法等を広報紙や市HPへ掲載する他、出張申請の実施やイベント会場等でチラシを配布するなど、取得促進を図る。

「市役所力」の向上

基本目標　４　行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施　　策　（２）窓口サービスの向上

取組項目群　⑤　サービス時間の見直し

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
76	開館日等の見直し 業務改善課	【目的】 行政サービスについてのニーズや利用状況を把握し、行政サービスの利用時間等の見直しに努めます。 【取組内容】 公共施設の開館日（時間）を市民ニーズに合ったものとし、施設の利便性を高め、多くの市民に利用される公共施設を目指します。	・公民館をコミュニティセンターへ移行することに伴い、開館日を拡充 ・公民館は祝日を休館としていたが、コミュニティセンターは祝日を開館	1・目標を達成	指標(単位)：開館日等（時間）の見直しを行った公共施設の種類又は窓口等の検討回数（回） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：1／1／1／1／1 実績：1／／／／ 【評価の理由】 ・公民館をコミュニティセンターへ移行することに伴い、公民館は祝日を休館としていたが、コミュニティセンターは祝日を開館することとし、開館日の拡充を図ったことから、本評価とした。	・公共施設等総合管理計画において、今後の公共施設のあり方や新たな利用方法を検討しつつ、必要に応じて開館日の見直しを行っていく。

「市役所力」の向上

基本目標　４　行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施　　策　（２）窓口サービスの向上

取組項目群　⑥　サービスに関する情報の提供

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
77	ガイドブックなどの充実 業務改善課	【目的】 行政サービスを必要とする方が、必要なサービスを確実に利用できるように、市民への情報提供の充実を図ります。 【取組内容】 各種サービスに関する市民（利用者）向けのガイドブックやパンフレットなどを整備し、市民（利用者）への情報提供に活用します。	・ガイドブック・パンフレットの発行（全７８種）	1・目標を達成	指標(単位)：ガイドブックの見直し実施率（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：100／／／／ 【評価の理由】 ・市民への情報提供の充実を図るため、各課においてガイドブック等の見直し（統合・廃止を含む）を行い、ガイドブック等の発行数７８種について改定や見直しが実施されたことから本評価とした。	・引き続き、見やすく、わかりやすい紙面づくりに努める。
78	メール配信の充実　【再掲（-４）】 交通防犯課	【目的】 行政サービスを必要とする方が、必要なサービスを確実に利用できるように、市民への情報提供の充実を図ります。 【取組内容】 「かぞホっとメール」により、安全安心情報、イベント情報、子育て情報、就業支援情報及び学校配信情報などを、登録者の携帯電話などに配信します。			指標(単位)：市人口に対する「かぞホッとメール」の実登録者の割合（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：18／20／22／23／25 実績：／／／／	

「市役所力」の向上

基本目標　４　行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施　　策　（３）個人情報の保護

取組項目群　①　情報セキュリティの確保

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
79	個人情報制度の運用 総務課	【目的】 個人情報制度の運用をはじめ、情報セキュリティポリシーの適切な運用やシステム障害、自然災害によるサービスの停止に備え、実現性のある業務継続に努めます。 【取組内容】 保有個人情報の開示請求に係る決定を迅速に行い、プライバシーの権利の保障を適切に行います。	・加須市個人情報保護条例に基づく制度の適正な運用	1・目標を達成	指標(単位)：保有個人情報開示請求に係る平均処理日数（処理日数の合計÷処理件数）（日） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：10／10／10／10／10 実績：6.9 【評価の理由】 ・実績値が目標値を上回ったため、本評価とした。 ・指標実績値：6.95日（処理日数の合計　341日／処理件数　49件）	・引き続き、保有個人情報の開示請求に係る決定を迅速に行えるよう働きかけ、平均処理日数の維持短縮を図る。
80	情報セキュリティポリシーの遵守 業務改善課	【目的】 個人情報制度の運用をはじめ、情報セキュリティポリシーの適切な運用やシステム障害、自然災害によるサービスの停止に備え、実現性のある業務継続に努めます。 【取組内容】 情報セキュリティを確保するため、運用規定の周知を徹底し、職員の情報セキュリティ意識の向上を図るとともに市民から信頼をいただきます。	・ｅラーニングによる情報セキュリティ研修を令和2年度未受講者及び希望者300人に対し実施 ・情報化責任者会議を令和4年3月18日に開催し、情報セキュリティポリシー遵守を周知	1・目標を達成	指標(単位)：セキュリティ研修の受講率（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：100 【評価の理由】 ・eラーニングによる情報セキュリティ研修の受講率が100%であったため本評価とした。	・引き続き、eラーニングによる情報セキュリティ研修の受講率100%の維持や情報セキュリティポリシーの庁内周知等を徹底する。

「市役所力」の向上

基本目標　４　行政手続の利便性と窓口サービスの向上

施　　策　（３）個人情報の保護

取組項目群　①　情報セキュリティの確保

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
81	情報システム基盤の安定的な運用 業務改善課	【目的】 個人情報制度の運用をはじめ、情報セキュリティポリシーの適切な運用やシステム障害、自然災害によるサービスの停止に備え、実現性のある業務継続に努めます。 【取組内容】 情報システムの障害による運用停止時間をなくします。	・令和4年1月に住民情報システムをクラウド化 ・情報化責任者会議を令和4年3月18日に開催し、情報セキュリティポリシー遵守を周知	2・概ね達成		・業務継続性や運用管理コストの軽減等のクラウド化によるメリットを勘案し、最適なシステム環境の構築を図る。 ・引き続き、情報セキュリティポリシー遵守について庁内周知を行う。

指標(単位)	システム稼働率				（％）
年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）
目標	100	100	100	100	100
実績	99.9				

【評価の理由】
・住民情報システムの動作遅延が発生し、窓口業務が約15分間遅延したため、本評価とした。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（１）計画的な行財政運営

取組項目群　①　スクラップアンドビルドの推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
82	１事業１改善の実施（加須やぐるまマネジメントサイクルの推進） 政策調整課	【目的】 市が行うすべての事務事業について、加須やぐるまマネジメントサイクルに基づくPDCAサイクルによる行政評価を行い、これまで以上に成果を重視した仕事の見直しや経費の節減などを図ります。また、これらの見直しなどの中で、事務事業の必要性を検証し、廃止・縮小・統合等を図り、社会経済情勢や市民ニーズに合った行政運営に努めます。 【取組内容】 加須やぐるまマネジメントサイクルを活用し、すべての事務事業について総点検を実施し、点検結果を踏まえた事務事業の見直し（1事業1改善）を行います。	・加須やぐるまマネジメントを活用した事業管理シートヒアリングを実施 ・令和４年度予算編成に向けて施策内優先度評価を実施するとともに、事業管理シートの見直しを実施	１・目標を達成	指標(単位)：改善を行った事務事業の割合（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：100／／／／ 【評価の理由】 ・事業管理シートヒアリング及び予算編成に伴う事業管理シートの見直しについて、全ての事務事業をチェックし、改善することができたため。	・引き続き、加須やぐるまマネジメントサイクルを活用し、事務事業の適正な進行管理を推進する。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（１）計画的な行財政運営

取組項目群　②　収支の均衡

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
83	経常収支比率の改善 財政課	【目的】 柔軟な財政運営を可能とするため、歳入の確保や経常経費の抑制に取り組み、経常収支比率の改善を図ります。 【取組内容】 中・長期的な展望に立ち、経常的な事業の見直しを進めながら、予算全体に占める人件費や公債費、物件費などの経常経費の割合を圧縮し、政策的な分野への予算配分につなげます。	・歳出は物件費等の減があったが、元金償還開始に伴う公債費の増などにより、経常収支比率の上昇に影響 ▶公債費　3,174,153千円→3,526,639千円（352,486千円） ▶物件費　4,309,120千円→3,997,718千円（▲311,402千円） ・歳入は普通交付税や地方消費税交付金の増により、経常収支比率の減少に寄与 ▶普通交付税 4,909,019千円→5,975,723千円（1,066,704千円） ▶地方消費税交付金 2,348,157千円→2,553,137千円（204,980千円）	２・概ね達成	指標(単位)：経常収支比率（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：91.8／91.7／91.6／91.5／91.4 実績：87.9／／／／ 【評価の理由】 ・一般的に都市部にあっては７５％程度、町村にあっては７０％程度の比率が妥当とされている数値で、これより５％超えると弾力性を失いつつあると言われている。 ・今年度においては、物件費や補助費等の減があったが、元金償還開始に伴う公債費の増や子育て支援医療費の増による扶助費の増などにより、経常収支比率の算式の分子である経常一般財源支出は増加した。一方、分母である経常一般財源収入も普通交付税の追加交付に伴い増加した。分子の増よりも分母の増の方が大きかったため、昨年度より3.9ポイント減少した。	・今後も引き続き、人件費などの経常経費の抑制や、財源確保に取り組み、経常収支比率の改善を図っていく。
84	統一的な基準による地方公会計の活用 財政課	【目的】 柔軟な財政運営を可能とするため、歳入の確保や経常経費の抑制に取り組み、経常収支比率の改善を図ります。 【目的】 統一的な基準による地方公会計を予算編成等に積極的に活用し、限られた財源を「賢く使う」ことにつなげます。	・財務書類４表の作成、広報紙掲載（広報かぞ４月号）、ホームページ上での公表、市議会への報告 ・予算編成に積極的に活用するため、他市との比較検討、分析のための情報収集	２・概ね達成	指標(単位)：財務書類等の作成・活用 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：作成活用／作成活用／作成活用／作成活用／作成活用 実績：作成活用／／／／ 【評価の理由】 ・固定資産台帳について、管理契約課との調整、連携によりスケジュールどおりに更新することができた。 ・近隣市及び類似団体の財務諸表の情報把握を行い、比較を行った。	・施設の統廃合を検討する際には、必要に応じて施設個別の行政コスト計算書などを作成する。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（１）計画的な行財政運営

取組項目群　②　収支の均衡

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
85	戦略的な予算編成の実施 財政課	【目的】 柔軟な財政運営を可能とするため、歳入の確保や経常経費の抑制に取り組み、経常収支比率の改善を図ります。 【目的】 行政評価と連動した予算編成を行い、行政評価による見直し内容や市の施策の優先順位などを適切に予算編成に反映します。	・事業管理シートによる事業評価、総合振興計画施策評価シートによる施策ごとの優先度評価を踏まえた予算編成を実施 ・政策調整課や業務改善課と年を通して連携し、予算編成と事業管理シートの行政評価と連動した予算査定、編成の実施 ・当初予算要求において各事業で前年度一般財源を超えないよう抑制を周知	２・概ね達成	指標(単位)：行政評価と連動した予算編成の実施 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：実施／実施／実施／実施／実施 実績：実施／／／／／ 【評価の理由】 ・事業管理シートを管理する政策調整課、補助金等の見直しを進める業務改善課との合同によるサマーレビュー、三課ヒアリング、市長査定へと継続して連携を図り、行政評価と連動した予算査定、編成を実施した。	・新型コロナウイルス感染症対応などの緊急的な補正予算編成では、国からの情報を随時収集し、漏れの無いよう予算編成にあたる。 ・当初予算編成では、政策調整課、業務改善課と連携し、特に今後課題となる公共施設の管理費用等については、中長期的な面を考慮しながら、予算編成及び財政運営に取り組む。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（１）計画的な行財政運営

取組項目群　③　債務残高の圧縮

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
86	市債の適切な新規発行 財政課	【目的】 市債の償還と新規借入れのバランスを図り、将来世代の負担となる市債残高の圧縮に努めます。 【目的】 将来世代に過度の財政負担を残さないよう、建設事業の計画的な実施と基金積立金の活用により、市債の新規発行を適切に行います。	・建設事業の計画的な実施と基金積立金の活用による市債の適切な発行 臨時財政対策債1,544,107千円、緊急防災・減災事業債（受変電設備等改修及び設備棟建設工事）234,900千円、学校教育施設等整備事業債（不動岡小学校校舎大規模改造事業）11,300千円などの発行 発行総額1,920,807千円	2・概ね達成	指標(単位)：普通会計における市債残高（億円） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：330／329／328／327／326 実績：312／／／／ 【評価の理由】 ・市債の新規発行を適切に行った。 ・補正予算債や交付税措置のある事業債を積極的に活用した。 ・普通建設事業の財源については、基金と市債を活用した。 ・臨時財政対策債については、普通交付税の増額交付に伴い、国の指導を踏まえ、将来の公債費負担を軽減するため、発行額2,044,107千円を500,000千円減額した。	・地方債借入れのための手法について確認し、必要に応じ県の担当者等と具体的な協議を図る。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（１）計画的な行財政運営

取組項目群　④　将来への備え

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
87	適正な基金への積立と活用 財政課	【目的】 急激な歳入の減少や公共施設の更新・統廃合・長寿命化、更には今後生じ得る新たなニーズなどに、的確かつ迅速に対応できるように、計画的な基金運用を行います。 【取組内容】 持続可能な財政運営を図るため、各年度に見込まれる予算の剰余額について、残余を公共施設等再整備基金などに適正に積み立て、活用します。	・財政調整基金への積立金　963千円 ・公共施設等再整備基金からの取崩し306,024千円 ・医療体制確保基金からの取崩し　3,659,437千円 【参考】 主な基金のR3年度末残高 ・財政調整基金2,727,026千円 ・市債管理基金137,332千円 ・公共施設等再整備基金2,993,516千円 ・土地開発基金485,703千円	２・概ね達成	指標(単位)：公共施設等再整備基金の積立率（当該年度積立額/前年度取崩額）（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：262／／／／ 【評価の理由】 ・公共施設等再整備基金のR２年度の取崩し額は609,937千円、R３年度積立額は1,600,161千円となり、目標値は達成しているが、今後、公共施設等の改修等経費に膨大な額が見込まれ、引き続き収支の状況を勘案しながら積み立てを行う必要があることから、概ね達成とした。	・公共施設等の統廃合、感染症予防対策や経済対策など、今後の財政需要を考慮しながら、各基金への積立、積戻しや、各年度の元利償還額・市債残高を試算等し、財源の確保にあたる。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（２）効果的な行政運営

取組項目群　①　財源確保の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
88	市税（国民健康保険税を除く）の収納対策の推進 収納課	【目的】 市債権の適正な管理を実施した上で、市税の収納率の向上を図るとともに、企業誘致や市有財産の有効活用を図るなどして、自主財源の確保を推進します。 【取組内容】 市債権の適正な管理を実施した上で、市税の市民負担の公平性及び自主財源を確保するため、積極的なPRや収納体制の強化により、収納率の向上に努めます。	・納期内納付のPRや口座振替の推奨 ・電話、文書、臨宅等による効果的な催告 ・ナッジ理論を用いた効果的な納税催告書の作成 ・差押等の滞納処分及び適正な納税緩和措置 ・課税担当課と連携した効率的な徴収 ・市民相談室等と連携した多重債務者の対応 ・各種料金等にかかる収納対策 ・債権管理条例に基づく債権管理	２・概ね達成	指標(単位)：市税の収納率（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：98.0／98.1／98.2／98.3／98.4 実績：97.8／／／／ 【評価の理由】 ・目標値を達成することはできなかったが、早期の納税催告・滞納処分等の収納対策を適切に実施し、また、新型コロナウイルス感染症に係る特例猶予適用市税については、猶予期限通知を送るなどの納税管理を行い、期限内の納付があったことから、収納率は前年より0.2ポイント向上したため、目的を概ね達成していると評価した。	・現年課税分の収納率向上に努めるため、新規滞納者への催促、滞納処分の早期着手をする。 ・口座振替を推奨し、納期内納付の推進を図る。 ・財産調査を徹底し、差押等の滞納処分又は処分停止等の納税緩和を適正に実施することにより、収入未済額の圧縮及び収納率の向上を図る。
89	料金などの確実な収納 収納課、会計課	【目的】 市債権の適正な管理を実施した上で、市税の収納率の向上を図るとともに、企業誘致や市有財産の有効活用を図るなどして、自主財源の確保を推進します。 【取組内容】 市債権の適正な管理を実施した上で、利用者負担が生じる行政サービスを利用するに当たり、負担すべき金額を適正に賦課し、収納率の向上に努めます。	・各種料金所管課と連携を図り、収納状況や消滅債権状況を確認 ・各種料金等の特性に合わせた収納対策実施要領、年間スケジュールを作成し、総合的かつ計画的に収納対策を実施	１・目標を達成	指標(単位)：各種料金などの収納率（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：95.3／95.4／95.5／95.6／95.7 実績：95.4／／／／ 【評価の理由】 ・各種料金等収納対策実施要領及び年間スケジュールに基づいた収納対策が図られ、収納率向上に努めた結果、目標数値を達成することができた。	・収納対策部会を開催し、各種料金等の収納状況や消滅債権状況を確認する。 ・年度当初に、収納対策実施要領・年間スケジュールを策定し、計画的に収納対策を実施するとともに、債権管理の適正化に努める。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（２）効果的な行政運営

取組項目群　①　財源確保の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
90	資産の有効活用等 管理契約課	【目的】 市債権の適正な管理を実施した上で、市税の収納率の向上を図るとともに、企業誘致や市有財産の有効活用を図るなどして、自主財源の確保を推進します。 【取組内容】 未利用市有地の有効活用などを図り、自主財源の確保に努めます。	・旧加須市北川辺介護ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰの公募型ﾌﾟﾛﾎﾟｰｻﾞﾙによる売却を実施 ・随意契約による普通財産（不動岡区画整理旧保留地№1、野中土地区画整理事業寄附地、加須・大利根工業団地ﾎﾟﾝﾌﾟ場用地、栄地区河川法面、上種足個人貸付地）の売却 ・一級河川中川の社会資本整備総合交付金（河川）工事に伴う大利根ｸﾘｰﾝｾﾝﾀｰ敷地、松永新田電波塔貸付地、松永新田電波塔貸付残地の売却	２・概ね達成	指標(単位)：未利用市有地（普通財産・土地）の売払い又は利活用決定件数（件） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：2／2／2／2／2 実績：8／／／／ 【評価の理由】 ・8件の普通財産の売却が実施できており、おおむね達成できたものであるが、新たな未利用市有地もあるため。	・市有財産管理運用委員会を開催し、未利用財産の区分けを行い、利活用を行う。 ・財産の取得・処分検討委員会を開催し、未利用市有地の公売に向けて諮問を行う。 ・旧騎西ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ利活用庁内検討委員会を開催する。
91	企業誘致・立地支援などの推進 産業振興課、まちづくり課、農業振興課	【目的】 市債権の適正な管理を実施した上で、市税の収納率の向上を図るとともに、企業誘致や市有財産の有効活用を図るなどして、自主財源の確保を推進します。 【取組内容】 進出意向を持つ企業のニーズを把握し、市内工業団地等の空き区画や市街化調整区域での立地に向けた相談を受けるなど、関係課と連携して企業誘致・立地支援に繋げていきます。	・新たな企業適地の検討や既存適地への立地促進 ・企業訪問、企業情報や経済情報の収集・分析 ・地域未来投資促進法の相談 ・工場立地法事務 ・工場適地調査	１・目標を達成	指標(単位)：市内工業団地等への立地事業所数（社） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：2／2／2／2／2 実績：10／／／／ 【評価の理由】 ・R3年度実績としては10社の立地（居抜き含む）があったため。	・市内への立地を希望する企業の要望に応えられるよう、立地可能な適地について、まちづくり課を中心として関係各課と検討・協議・精査し、早期の立地実現を目指す。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（２）効果的な行政運営

取組項目群　①　財源確保の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
92	広告収入の確保 業務改善課	【目的】 市債権の適正な管理を実施した上で、市税の収納率の向上を図るとともに、企業誘致や市有財産の有効活用を図るなどして、自主財源の確保を推進します。 【取組内容】 市の印刷物やホームページ、公共施設などの資産に、民間企業等の広告を掲載し、自主財源の確保と経費の節減を図ります。	・広告料収入を得たもの３媒体　1,032千円 ・現物の無償提供を受けたもの　1,005千円	２・概ね達成	指標(単位)：広告媒体の種類（種） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：6／6／7／7／8 実績：5／／／／ 【評価の理由】 ・令和３年度に広告料収入（市ホームページのバナー広告など）又は無償提供（広告付き受付番号自動発券機システムなど）があったものは５媒体であったため、本評価とした。なお、収入及び削減額の合計は2,037千円であった。	・引き続き、民間企業との協働による新たな財源確保や歳出削減策を検討する。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（２）効果的な行政運営

取組項目群　②　効率的な事務の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
93	ＡＩ・ＲＰＡの活用 業務改善課	【目的】 限られた定員・財源を有効に活用し、より効率的に執行することにより、行政の生産性を向上させ、市民に提供できるように、行政コストの削減に努めます。 【取組内容】 人的労力の省力化や所要時間の短縮を図るとともに、職員が業務に集中しやすい環境を構築するために、ＡＩ・ＲＰＡの適用を図ります。	・特定検診勧奨対象者抽出、議事録作成支援に加え、新たにAI-OCRとRPAを導入し、AI・RPAの活用を拡充 （がん検診結果入力、口座振替依頼書、絆アンケート結果入力に活用） ・情報化責任者会議を令和4年3月18日に開催し、AI・RPAの活用について周知	1・目標を達成	指標(単位)：ＡＩ・ＲＰＡの活用数（件） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：4／6／6／8／8 実績：4／／／／ 【評価の理由】 ・AIによる特定検診勧奨対象者抽出、議事録作成支援、及びAI-OCR、RPAを活用したため、本評価とした。	・AI技術を搭載した新たなシステムの導入を検討する。 ・AI-OCRとRPAの活用業務を拡充する。 ・AI・RPA利用促進の庁内周知を行う。
94	電子入札の推進 管理契約課	【目的】 限られた定員・財源を有効に活用し、より効率的に執行することにより、行政の生産性を向上させ、市民に提供できるように、行政コストの削減に努めます。 【取組内容】 埼玉県と県内市町で共同運用する埼玉県電子入札システムを活用し、電子入札を推進します。	・建設工事等の入札指名、一般競争入札の公告、開札事務を埼玉県電子入札システムにて実施	1・目標を達成	指標(単位)：建設工事等における電子入札導入割合（%） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：100／／／／ 【評価の理由】 ・令和３年度は295件入札を実施し、全ての案件において埼玉県電子入札システムにて入札事務を適正に執行した。	・引き続き、埼玉県電子入札システムを活用し、適正に入札事務を遂行していく。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（２）効果的な行政運営

取組項目群　②　効率的な事務の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
95	公共施設インターネット予約の推進【再掲-64】 市民協働推進課、業務改善課	【目的】 限られた定員・財源を有効に活用し、より効率的に執行することにより、行政の生産性を向上させ、市民に提供できるように、行政コストの削減に努めます。 【取組内容】 スマートフォンや家庭のパソコンからインターネットを利用して、24時間365日、公共施設の予約状況の確認や予約の申込みを可能にします。			指標(単位)：インターネット予約可能施設におけるインターネット予約の割合（%） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：導入／50%以上／50%以上／50%以上／50%以上 実績：	
96	ペーパーレス化の推進 業務改善課	【目的】 限られた定員・財源を有効に活用し、より効率的に執行することにより、行政の生産性を向上させ、市民に提供できるように、行政コストの削減に努めます。 【取組内容】 電子決裁の検討や会議などのやり方の見直しを行い、ペーパーレス化を推進します。	・自端末からファイルを共有してペーパーレス会議を実施 ・プリンタ出力枚数の削減依頼に係る各課における出力枚数の集計を実施	1・目標を達成	指標(単位)：ペーパーレス化に向けた累計取組数（件） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：3／3／4／4／5 実績：3 【評価の理由】 ・ペーパーレス会議、複合機のスキャン機能による資料等のデータ化、プリンタ出力枚数の削減依頼に係る各課における出力枚数の集計を実施し、目標を達成したため本評価とした。	・引き続き、ペーパーレス会議の普及促進、プリンタ出力枚数の削減等を図る。 ・庶務事務システム等の新たなペーパーレスの取組を検討する。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（２）効果的な行政運営

取組項目群　②　効率的な事務の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
97	情報システムの最適化 業務改善課	【目的】 限られた定員・財源を有効に活用し、より効率的に執行することにより、行政の生産性を向上させ、市民に提供できるように、行政コストの削減に努めます。 【取組内容】 情報システムのクラウド化や国が推進するシステム標準化・共同化に取り組むことにより、最適なシステム環境を構築し、効率的なシステム運用を図ります。	・住民情報システム更改に伴い、令和4年1月に当該システムをクラウド化 ・財務会計システムのクラウド化について、令和3年度システムアセスメントにおいて検討	1・目標を達成	指標(単位)：庁内共通システムのクラウド化（%） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：50／75／75／100／100 実績：50 備考：庁内共通システム：住民情報、財務会計、グループウェア、ホームページ管理 【評価の理由】 ・庁内共通システムのうち、住民情報システム、ホームページ管理システムがクラウド化され、令和3年度目標値を達成しているため本評価とした。	・クラウド化されていない庁内共通システム（財務会計・グループウェア）について、業務継続性や運用管理コストの軽減等のクラウド化によるメリットを勘案し、最適なシステム環境の構築を図る。
98	事務経費の削減 業務改善課	【目的】 限られた定員・財源を有効に活用し、より効率的に執行することにより、行政の生産性を向上させ、市民に提供できるように、行政コストの削減に努めます。 【取組内容】 事務事業の見直しを進め、旅費、需用費、役務費、委託料などの事務的経費の削減に努めます。	・3課事業管理シートヒアリングや予算ヒアリングにおいて、事務事業の評価、見直しを実施 ・予算ヒアリングにおいて、各課における業務内容等の確認	1・目標を達成	指標(単位)：普通会計における物件費の令和元年度比削減累計額（百万円） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：▲30／▲60／▲90／▲120／▲150 実績：▲122 備考：※令和元年度物件費：6,480百万 【評価の理由】 ・予算査定時に予算額の削減に努めるとともに、計画的・効率的な予算執行と経費抑制に全庁的に取り組んだ結果、目標を達成することができた。	・引き続き、各部課へのヒアリング等により事務事業の評価、見直し等を進め、事務経費の削減に取り組んでいく。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（２）効果的な行政運営

取組項目群　③　サービスと負担の適正化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
99	施設使用料・交付手数料等の見直し 業務改善課	【目的】 受益と負担の公平という観点から、サービスと負担の適正化を図るため、施設使用料や団体補助金等を見直します。 【取組内容】 様々な行政サービスのうち、特定の個人に対して便益を提供するサービスについて、利用する者と利用しない者との負担の公平性を図るため、一定の方針を定め、施設使用料や交付手数料等を全体的に見直します。	・基本方針及び算定基準（案）の検討	４・大幅に遅れている	指標(単位)：適正な使用料・手数料の設定 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：方針検討／方針策定／周知／実施／実施 実績：方針検討 【評価の理由】 ・施設使用料・交付手数料の見直しに向け、基本方針及び算定基準（案）を検討した。 ・基本方針及び算定基準（案）の検討はしたものの、基本方針及び算定基準（案）に基づいた試算等による影響を検討することができなかったことから、本評価とした。	・施設使用料・交付手数料の調査結果等を基に、統一した基本方針を策定する。
100	各種団体補助金等の見直し 業務改善課	【目的】 受益と負担の公平という観点から、サービスと負担の適正化を図るため、施設使用料や団体補助金等を見直します。 【取組内容】 各種団体への補助金等の交付目的を明確にし、成果を検証した中で、一定の方針を定め、各種団体補助金等を全体的に見直します。	・補助金交付先団体に対する委員会のチェックポイントの検討	４・大幅に遅れている	指標(単位)：適正な各種団体補助金等の交付 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：検証／検証／周知／実施／実施 実績：検証 【評価の理由】 ・平成29年6月、「補助金のあり方に関する基本方針～よりよい補助金制度を目指して～」を策定した。 ・942団体に対して統一した対応が必要であり、検証結果によっては市民への影響も大きいため慎重な対応が求められることから、補助金交付団体における加須市補助金適正化検討委員会のチェック項目及び評価方法の検討に留まった。 ・検証はしたものの、具体的な方策を見出せなかったことから、本評価とした。	・段階的な検証を実施するため、加須市補助金適正化検討委員会を中心に各補助金の適正化に向けた検証を実施する。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　①　働き方改革の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
101	ワーク・ライフ・バランスの徹底 職員課	【目的】 ワーク・ライフ・バランスの徹底やオンライン会議の活用など、市役所における働き方改革を推進します。 【取組内容】 職員の仕事と家庭の両立を図るため、定時退庁徹底日として「ワーク・ライフ・バランスデー」を設定し、職員の定時退庁を徹底します。	・全庁的に実施する年６回のワーク・ライフ・バランスデー及び各課で年６回のワーク・ライフ・バランスデーを設定した取組 ・ワーク・ライフ・バランスデーの取組について職員へ通知するとともに、実施後は各課の取組状況を把握し、その結果を部長会議で報告 ・設定日当日、グループウェア、庁内放送、各所属長から周知	１・目標を達成	指標(単位)：ワーク・ライフ・バランスデーに定時退庁した職員の割合　（%） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：97／97／97／97／97 実績：98.5／／／／ 【評価の理由】 ・月１回（年１２回）のワーク・ライフ・バランスデーの実施及び結果を周知したことにより、目標を達成できたため。	・引き続き、各月のグループウェアへの掲載と、入力確認を徹底する。
102	時間差勤務制度の拡充 職員課	【目的】 ワーク・ライフ・バランスの徹底やオンライン会議の活用など、市役所における働き方改革を推進します。 【取組内容】 市民サービスへの影響を十分に考慮した上で、時間差勤務制度を拡充します。	・公立放課後児童健全育成事業に従事する職員が健全育成室の開室時間（放課後から19:00まで）に対応できるよう、実情に適した勤務時間を設定できる規程を整備 ①8:30～17:15 ②10:30～19:15 19時までの開室に対応するため、2体制で勤務	１・目標を達成	指標(単位)：時間差勤務の種類（累計）　（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：1／1／1／2／2 実績：1／／／／ 【評価の理由】 ・公立放課後児童健全育成室に従事する職員に対する時間差勤務（フレックスタイム）を導入することができたため。	・時間差勤務に限らず、職員のライフスタイルに合わせた職場環境づくりを検討していく。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　①　働き方改革の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
103	効率的な庁内会議の開催 総務課	【目的】 ワーク・ライフ・バランスの徹底やオンライン会議の活用など、市役所における働き方改革を推進します。 【取組内容】 働き方改革を推進するため、庁内会議の運営に関するガイドラインに基づき、設定した時間内に会議の目的と目標を達成し、十分な成果が得られるよう取り組みます。	・庁内会議の目的・目標の明確化、目標時間の設定、会議資料の事前配布等の周知徹底	２・概ね達成		・引き続き、効果的かつ効率的な庁内会議の運営に努めるよう周知徹底を行い、指標実績値の向上を図る。

指標(単位)	事前に設定した目標時間以内で実施した庁内会議の割合　（%）				
年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）
目標	90	90	95	95	100
実績	78.6				

指標(単位)	ガイドラインに基づくチェックリストの達成度が「全てできた」又は「おおむねできた」会議の割合　（%）				
年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）
目標	100	100	100	100	100
実績	100				

【評価の理由】
・実績値が目標値の８割以上に達しているため、本評価とした。
・指標実績値：78.6%（目標時間以内に終了した件数　44件／会議開催件数　56件）

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　①　働き方改革の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
104	タイムマネジメントの実施 職員課	【目的】 ワーク・ライフ・バランスの徹底やオンライン会議の活用など、市役所における働き方改革を推進します。 【取組内容】 時間に限りがある中で、たくさんの仕事を効率よく行うため、時間生産性の向上を図ります。	・令和3年4月19日付けで、働き方改革の推進について通知 ・深夜勤務多回数者の所属長に対し、結果を通知するとともに、部下職員のマネジメント状況報告書を提出してもらい、今後の状況を確認	4・大幅に遅れている	指標(単位)：深夜勤務多回数者（四半期で10回以上）を有する課の数　（課） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：0／0／0／0／0 実績：7／／／／ 【評価の理由】 ・深夜勤務について、目標値には達していないため。 ・市の業務は課によって繁忙の時期が異なるため、四半期ごとの集計では10回以上の深夜勤務を行った職員を有した課はあったが、全ての四半期を通して10回以上の深夜勤務を行った職員を有した課はない。	・深夜勤務多回数者の所属長に対し、四半期毎に結果を通知するとともに、報告書の提出を求める。また、必要に応じ、所属長に対し、ヒアリングを行う。
105	オンライン会議の活用 業務改善課	【目的】 ワーク・ライフ・バランスの徹底やオンライン会議の活用など、市役所における働き方改革を推進します。 【取組内容】 会議の実施形態や参加者の通信環境等を踏まえながら、オンラインによる会議手法を活用していきます。	・オンライン会議に必要な機器貸出、ネットワーク環境等を提供 ・各総合支所長が自席でオンライン会議に参加できる環境を構築	1・目標を達成	指標(単位)：オンライン会議等の利用件数　（件） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：120／140／160／180／200 実績：590／／／／ 【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症対策による接触機会の削減を契機に、オンライン会議の需要が高まり目標値を達成することができたため、本評価とした。	・引き続き、オンライン会議の機器貸出や環境整備等を行う。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　①　働き方改革の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						取組の改善点・今後の取組内容等
106	ＡＩ・ＲＰＡの活用　【再掲（-93）】 業務改善課	【目的】 ワーク・ライフ・バランスの徹底やオンライン会議の活用など、市役所における働き方改革を推進します。 【取組内容】 人的労力の省力化や所要時間の短縮を図るとともに、職員が業務に集中しやすい環境を構築するために、ＡＩ・ＲＰＡの適用を図ります。			指標(単位)	ＡＩ・ＲＰＡの活用数（件）					
					年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
					目標	4	6	6	8	8	
					実績						

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　②　課題意識の醸成

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

<table>
<tr><th>No</th><th>取組項目
所管課</th><th>取組項目群の目的
取組内容</th><th>（決算）年度の
取組内容</th><th>評価</th><th>成果・目標指標
評価の理由</th><th>取組の改善点・
今後の取組内容等</th></tr>
<tr><td rowspan="3">107</td><td>加須やぐるまマネジメントサイクル（行政評価）を通じた人材育成</td><td rowspan="2">【目的】
加須やぐるまマネジメントサイクル（行政評価）を通じて、職員の課題意識の醸成を図ります。また、すべての職員が事務改善に取り組む運動を推進します。</td><td rowspan="3">・新規採用職員研修の中で行政評価の概要を説明
・加須やぐるまマネジメントサイクルによる事務事業の目的や目標、課題などを明確にして業務が遂行できるよう職員に対し行政評価研修を当初予算編成方針説明会で実施（令和３年１０月４日）</td><td rowspan="3">１・目標を達成</td><td rowspan="3">
<table>
<tr><td>指標(単位)</td><td colspan="5">行政評価についての職員の理解度　（％）</td></tr>
<tr><td>年度</td><td>３年度（決算）</td><td>４年度</td><td>５年度</td><td>６年度</td><td>７年度（目標年）</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>100</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
【評価の理由】
・継続的に研修会を実施することで職員のスキルアップにつながるとともに、新規採用職員に対して研修会を実施したことで、職員の理解が得られたものと評価した。また、事業管理シートヒアリング（対面）により、事業管理シートの改善を実施することができた。
</td><td rowspan="3">・引き続き、行政評価研修会などを通して、職員一人一人が事業の目的や課題を明確にして、各種取組につなげていく。</td></tr>
<tr><td></td><td rowspan="2">【取組内容】
行政評価研修や行政評価の実践を通じて、職員一人ひとりが、事務事業の目的や目標、課題などを明確にして仕事をする意識を醸成します。</td></tr>
<tr><td>政策調整課</td></tr>
<tr><td rowspan="3">108</td><td>１課１改善運動の実施</td><td rowspan="2">【目的】
加須やぐるまマネジメントサイクル（行政評価）を通じて、職員の課題意識の醸成を図ります。また、すべての職員が事務改善に取り組む運動を推進します。</td><td rowspan="3">・改善報告の募集、表彰
・改善報告事例集の作成、周知
・他課から報告された事務改善事例における各課の取組状況を確認</td><td rowspan="3">３・やや遅れている</td><td rowspan="3">
<table>
<tr><td>指標(単位)</td><td colspan="5">全課の事務改善合計件数　（件）</td></tr>
<tr><td>年度</td><td>３年度（決算）</td><td>４年度</td><td>５年度</td><td>６年度</td><td>７年度（目標年）</td></tr>
<tr><td>目標</td><td>108</td><td>109</td><td>110</td><td>111</td><td>112</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>78</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
【評価の理由】
・全５６課所室から７８件の改善報告があったものの、目標件数に達することができなかったため本評価とした。なお、７８件の改善報告のうち１件を最優秀賞、１１件を優秀賞、１課を最多賞として表彰した。
・改善報告・改善事例集を作成し、職場環境改善の情報共有及び意識共有に努めた。
・他課から報告された事務改善事例を自課の事務改善へ取り入れることにより、全庁的に改善効果が高まった。
</td><td rowspan="3">・各職員が効果的・効率的な業務遂行を意識し、事務改善に取り組めるよう、職場環境の醸成に努める。
・事務効率及び市民サービスの向上のため、改善事例における各課の取組状況を確認する。</td></tr>
<tr><td></td><td rowspan="2">【取組内容】
職員一人ひとりでは解決が困難な課題などについて、職場単位で改善目標を立て、意見や知恵を出し合って改善する運動を進めます。</td></tr>
<tr><td>業務改善課</td></tr>
</table>

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　②　課題意識の醸成

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
109	「気づき」などの報告制度の推進 業務改善課	【目的】 加須やぐるまマネジメントサイクル（行政評価）を通じて、職員の課題意識の醸成を図ります。また、すべての職員が事務改善に取り組む運動を推進します。 【取組内容】 職員一人ひとりが、日々の業務における失敗事例やヒヤリ・ハット事例、改善事例などを報告し、それを蓄積して共有することで、日常業務を見直します。	・事務処理上のチェック体制の調査 ・事務処理上のミスにおける対応状況調査 ・リスクの見直し及びリスク管理表の更新を実施	1・目標を達成	指標(単位)：事務処理ミスにおける分析・対応率（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：100／／／／ 【評価の理由】 ・事務処理のミスをして報告された８件の全ての事例を分析し、的確な対応に努めた結果、目標としていた事例分析・対応率１００％を達成することができたため本評価とした。	・事務処理ミスの事前対策や情報を発信することで、リスクに対応する危機意識の醸成を図る。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　③　改革・改善意欲の醸成

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
110	職員提案制度の活用 業務改善課	【目的】 改革や改善を行うには、職員一人ひとりが改革や改善に意欲的であることが欠かせないため、様々な視点から市の仕事を見直します。また、職員の改革や改善に対する意欲の醸成に、組織的に取り組みます。 【取組内容】 事務効率の向上や市民サービスの向上などに資する事項に関し、職員から提案を募る「職員提案制度」について、創意工夫により制度の活性化を図ります。	・改善提案の募集、表彰 ・改善提案事例集の作成、周知	４・大幅に遅れている	指標(単位)：職員提案件数（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：52／52／52／52／52 実績：23／／／／ 【評価の理由】 ・９人から２３件の提案があり、２件を入選としたが、目標としていた職員提案件数について達成することができなかったため、本評価とした。 ▶入選2件 ①インボイス制度対策委員会の創設 ②確定申告受付事務従事の希望者登録制度	・より多くの職員との意見提案の機会となるよう、制度の周知・活性化を図る。 ・事務効率及び市民サービス向上のため、改善事例における各課の取組状況を確認する。
111	自主研究グループの設置・活動の促進 職員課	【目的】 改革や改善を行うには、職員一人ひとりが改革や改善に意欲的であることが欠かせないため、様々な視点から市の仕事を見直します。また、職員の改革や改善に対する意欲の醸成に、組織的に取り組みます。 【取組内容】 市政について、自主的に調査及び研究を行う自主研究グループの設置を推進するとともに、活動の促進を図ります。	・令和3年6月10日付けで、自主研究グループ支援制度について通知	４・大幅に遅れている	指標(単位)：調査及び研究費用の一部を助成したグループ数（グループ） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：1／1／1／1／1 実績：0／／／／ 【評価の理由】 ・自主研究グループからの申請請求がなかったため。 ・現在ある自主研究グループは、KMAT（Kazo Machidukuri Assistant Team）	・引き続き、自主研究グループ支援制度の周知に併せ、県内他市の状況などの情報を提供していく。 ・研修時に機会をみて周知していく。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　④　目指す職員像の共有化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
112	職員能力開発基本方針の周知徹底・推進 職員課	【目的】 市職員として、どのような職員を目指していくか、そのためにはどのような能力開発に取り組む必要があるかを明確にし、すべての職員が、目指す職員像を共有することで自己の成長に取り組むとともに、管理職職員は、部下職員の人材育成に取り組みます。 【取組内容】 市職員として目指す職員像を明確にし、職員の能力開発を図ります。	・取組項目における進捗状況の把握 ・職員録に加須市職員能力開発基本方針で定めた「目指す職員像」を掲載し周知 ・職員採用試験募集案内に「目指す職員像」を掲載	２・概ね達成	指標(単位)：取組項目の達成率（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：96／／／／ 【評価の理由】 ・加須市職員能力開発基本方針の各取組項目における令和３年度の実施状況を取りまとめ、進捗状況を確認（全28項目中：達成・順調…27項目（96.4%）、未達成・遅れ…1項目（3.6%））した結果、目標を上回ることができたため。	・引き続き、加須市能力開発基本方針で具体化した取組項目について、推進を図る。
113	職員行動指針の浸透・具体化 職員課	【目的】 市職員として、どのような職員を目指していくか、そのためにはどのような能力開発に取り組む必要があるかを明確にし、すべての職員が、目指す職員像を共有することで自己の成長に取り組むとともに、管理職職員は、部下職員の人材育成に取り組みます。 【取組内容】 週1回の「職員行動指針」の一斉唱和などにより、職員への指針の浸透を図ります。	・週に１度（週の最初の勤務日）、始業前に職員行動指針の唱和を実施 ・行動指針の具現化に向け、４半期ごとに共通目標を設定、その達成に向けた取組	２・概ね達成	指標(単位)：共通目標を達成できた職場の割合（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：99.1／／／／ 【評価の理由】 ・職員行動指針の唱和や課内での声掛けなどに実践により、目標と同じ実績を概ね達成できたため。	・引き続き、朝礼時の唱和と、具体策及び達成度の入力を徹底する。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　⑤　研修制度の充実

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
114	体系的・計画的な研修の推進 職員課	【目的】 日々の業務を通じた職場内での研修を基本としながら、職場外における研修や部局横断的に行う研修などに、体系的かつ継続的に取り組みます。 【取組内容】 「職員能力開発基本方針」及び「研修計画」に基づき、体系的かつ計画的に職員研修を実施します。	・令和３年度の職員研修実施計画に基づき各種研修を実施（自主研修数12件、研修参加延べ人数3,026人） ・令和３年度の重点研修でレポート提出の研修は次のとおり（タイムマネジメント修、ハラスメント研修）	２・概ね達成	指標(単位)：自主研修において受講前に設定した受講目標が達成できた職員の割合（％） 【評価の理由】 ・自主研修の効果測定において、目標値に近い実績となったため。	・引き続き、計画的に職員研修を行い、職員の能力開発を図る。

年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）
目標	85	85	85	85	85
実績	81				

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　⑤　研修制度の充実

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
115	職場内研修の推進 職員課	【目的】 日々の業務を通じた職場内での研修を基本としながら、職場外における研修や部局横断的に行う研修などに、体系的かつ継続的に取り組みます。 【取組内容】 具体的な仕事を通じて、必要な知識や技能などを指導するＯＪＴを推進するとともに、「新規採用職員サポーター制度」において、サポータハンドブックを活用し、新規採用職員の育成を図ります。	・令和３年4月にサポーターを指名し、新規採用職員、サポーター、所属長で目標を設定し、サポーターハンドブックを活用しながら、ＯＪＴを積極的に実施	２・概ね達成	指標(単位)：新規採用職員サポーター制度に係るアンケートにおける有効度の割合（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：100／100／100／100／100 実績：98.4／／／／ 【評価の理由】 ・積極的なＯＪＴの実施により、目標値に近い実績となったため。	・引き続き、サポータハンドブックを活用しながら、新規採用職員に対しＯＪＴを積極的に行う。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　⑥　職員の専門性の向上

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						取組の改善点・今後の取組内容等
116	スペシャリストの育成 職員課	【目的】 複雑で高度な市民のニーズにも的確に応えるため、職員の専門性の向上に取り組みます。 【取組内容】 職員の経験や意欲などを考慮した、専門研修派遣や人事配置などを行い、スペシャリストの育成を図ります。	・自治大学校等へ計７人を派遣（事後研修含む）（自治大学校２人、市町村職員中央研修所3人、国土交通大学校１人、全国地域リーダー養成塾１人）	３・やや遅れている	指標(単位)	専門研修への職員派遣数				（件）	・引き続き、職員の専門性の向上に取り組み、スペシャリストの育成を図る。
					年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）	
					目標	10	10	10	10	10	
					実績	7					
					備考	目標値における平成29年度～令和元年度の平均：10件　派遣先（自治大学校、市町村アカデミー、国土交通大学校、全国地域リーダー養成塾）					
					【評価の理由】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止になった研修があったが、それ以外の研修は全て参加することができた。						
117	資格取得の支援 職員課	【目的】 複雑で高度な市民のニーズにも的確に応えるため、職員の専門性の向上に取り組みます。 【取組内容】 職員の専門性の向上を図るため、職務に必須な資格の取得に係る試験費用を助成するなど、資格取得を支援します。	・衛生管理者、安全衛生推進者、衛生推進者の資格取得のための講習会に派遣し、資格を取得 ・保健師資格を有する職員の衛生管理者資格取得のための免許申請費用の助成	１・目標を達成	指標(単位)	支援した職員数（衛生管理者、安全衛生推進者、衛生推進者）				（ 人 ）	・引き続き、職員の専門性の向上に取り組み、資格取得を支援していく。
					年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）	
					目標	7	7	7	7	7	
					実績	7					
					【評価の理由】 ・資格取得を支援したことにより、目標を上回ることができたため。						

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　⑦　職員の健康管理

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
118	衛生管理の推進 職員課	【目的】 市民に満足していただける市政を運営していくためには、何より、市政を担う職員が元気でなければなりません。このため、職員の健康管理に努めます。 【取組内容】 衛生管理者や安全衛生推進者等を選任するとともに、定期健康診断やストレスチェック等を実施し、職員の衛生管理の推進を図ります。	・健康診断の実施（実施日　パストラルかぞ：令和３年７月１２日・１４日～１６日・２６日・２８日～３０日） ・産業医（内科）による健康相談（年１２回） ・職場巡視の実施（適宜） ・衛生委員会の開催（実施日：第１回 ７月６日、第２回 ２月１日）	２・概ね達成	指標(単位)：定期健康診断及び人間ドック等の受診率（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：91／91／91／91／91 実績：89.5／／／／ 【評価の理由】 ・健康診断の受診について、未受診者等への受診を促したことにより、目標値に近い実績値となったため。	・引き続き、職員の健康診断等を実施し、職員の健康管理に努めていく。
119	心の健康づくり計画の推進 職員課	【目的】 市民に満足していただける市政を運営していくためには、何より、市政を担う職員が元気でなければなりません。このため、職員の健康管理に努めます。 【取組内容】 「加須市職員　心の健康づくり計画」に基づいて、各種取組を実施します。	・第2次心の健康づくり計画の策定（令和3年8月25日） ・ストレスチェックの実施（実施期間：令和3年7月15日～30日） ・各部課選出職員向けメンタルヘルス（セルフケア）研修の実施（実施日：令和3年7月27日 修了者42人） ・管理職向けメンタルヘルス（ラインケア）研修の実施（実施日：令和3年11月9日　修了者56人） ・産業医（精神科）による健康相談（12回） ・衛生委員会の開催（実施日：第１回 令和3年7月6日、第２回 令和4年2月1日） ・復職しようとする職員に対するリハビリ勤務の実施	３・やや遅れている	指標(単位)：メンタル系疾患による1箇月以上の病休・休職した職員の割合（％） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：1.9／1.9／1.9／1.9／1.9 実績：2.3／／／／ 【評価の理由】 ・メンタル系疾患による１箇月以上の病休・休職した職員の割合が、令和2年度の2.8%から低減したものの、目標値を達成できていないため。 ・令和3年8月、第２次心の健康づくり計画を策定し、これに基づく取組を実施している。	・引き続き、「加須市職員　心の健康づくり計画」に基づいて各取組を実施し、職員の健康管理に努めていく。 ・職員が仕事をしやすい環境づくりや働き方改革を推進する。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　⑦　職員の健康管理

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						取組の改善点・今後の取組内容等
120	ワーク・ライフ・バランスの徹底　【再掲(－101)】 職員課	【目的】 市民に満足していただける市政を運営していくためには、何より、市政を担う職員が元気でなければなりません。このため、職員の健康管理に努めます。 【取組内容】 職員の仕事と家庭の両立を図るため、定時退庁徹底日として「ワーク・ライフ・バランスデー」を設定し、職員の定時退庁を徹底します。			指標(単位)	ワーク・ライフ・バランスデーに定時退庁した職員の割合　（％）					
					年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
					目標	97	97	97	97	97	
					実績						

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　⑧　優れた能力・資質を有する人材の確保

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
121	職員採用試験の見直し 職員課	【目的】 市民ニーズの多様化や業務量の増加が進む一方で、少子化などにより労働人口の減少が進んでいます。こうした中で、優れた能力・資質を有する人材を確保し、組織力の維持、強化を図ります。 【取組内容】 他団体との競争の中、創意工夫により採用試験を見直し、有能な人材を確保します。	・人づくり広域連合が7月に開催した「埼玉県市町村職員採用合同説明会」及び「オンライン相談会」に参加し、積極的にＰＲ ・採用に関する情報（ポスター・動画など）を、ホームページ等で積極的に提供 ・他市町村との差別化を図るため、「加須市職員採用情報フォーラム」を1月に開催（オンライン開催） ・最も利用された就職情報サイトＮｏ．１であるイナビに企業情報を掲載。 ・より人物重視の選考にするため、中堅職員面接を実施 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じ実施（試験会場の分散、検温の実施等）	１・目標を達成	指標(単位)：職員採用試験の実施内容の見直し（件） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：２／２／２／２／２ 実績：２／／／／ 【評価の理由】 ・採用試験の募集方法及び試験内容について検討し、見直しを行った上で実施したため。 【R3年度見直し】 ①建築の資格免許等の要件の緩和（２級建築士の資格を有する方も可） ②幹部職員による面接試験に女性面接官を追加	・引き続き、優れた能力・資質を有する人材の確保に努めていく。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　⑨　組織・機構の再編

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
122	組織・機構の再編 業務改善課	【目的】 行政サービスの提供に当たってどのような組織がよいのか、市民の立場と経営の視点の両面から検討し、組織・機構の見直しを行います。 【取組内容】 限られた財源と人員を効果的に活用し、市民のニーズと社会情勢に合った行政サービスが提供できるよう、適宜、組織・機構の見直しを行います。	・翌年度採用に向けて必要な専門職等の調査 ・翌年度組織、定員決定のための調査、ヒアリングの実施 ・その他組織・機構上の課題等の把握、解消に向けた調査、取組を実施	２・概ね達成	指標(単位)：組織・機構の見直し 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：実施／実施／実施／実施／実施 実績：実施／／／／／ 【評価の理由】 ・職員の定員管理を図りつつ、今後、更なる少子化・長寿化の進展が見込まれるなかで、市民ニーズを的確に捉えつつ、安定的かつ一体的な行政サービスの提供が行える体制とするため、令和４年度組織等の見直しを行った。 ①公民館のコミュニティセンター化の移行に伴い「生涯学習課生涯学習・公民館担当」を廃止し、「生涯学習課生涯学習担当」を新設 ②「政策調整課女子野球振興担当」を廃止し、「スポーツ振興課女子野球振興担当」を新設 ③「業務改善課システム管理担当」を廃止し、「業務改善課ＤＸ推進担当」を新設 ④老人福祉センター不老荘の廃止 ⑤「スポーツ振興課オリンピック・パラリンピック担当」の廃止 ・課に設置する担当の見直し（統合・廃止）対象課：４課 ・部課数　17部局支所56課（R3.4.1）前年と比較して増減なし ・上記のような見直しを実施したことにより、目標としていた組織・機構の見直しの推進を達成することができた。	・引き続き、各部課への調査・ヒアリングにより課題の把握に努める。 ・組織の見直し、事務の効率化、民間委託等の推進などにより、簡素で効率的な組織づくりを進める。 ・将来にわたって行政サービスを確実に提供し、新たな行政需要に的確に対応していくため、業務量に応じた必要な人員を確保するとともに、業務の効率化や既存体制の見直し等により定員管理を実施する。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　⑩　適切な定員管理

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
123	業務量に対応した定員管理の実施 業務改善課	【目的】 新たな行政需要に対して的確に対応していくため、業務の効率化や組織体制の見直しなどによる定員管理を行います。 【取組内容】 将来にわたって行政サービスを確実に提供し、新たな行政需要に対しても的確に対応していくため、業務量に応じた必要な人員を確保するとともに、業務の効率化や既存体制の見直しなどにより定員管理を実施します。	・翌年度採用に向けて必要な専門職等の調査 ・翌年度組織、定員決定のための調査、ヒアリングの実施 ・その他組織・機構上の課題等の把握、解消に向けた調査、取組を実施	２・概ね達成	指標(単位)：定員の見直し 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：実施／実施／実施／実施／実施 実績：実施 【評価の理由】 ・定員管理については、将来にわたって行政サービスを確実に提供し、新たな行政需要に対しても的確に対応してくため、業務量に応じた必要な人数を確保するとともに、行政サービスの更なる向上と組織内の一体的な実施に向け、令和４年度組織等の見直しを行った。 ・なお、定員適正化計画(令和2年度にて終了)とは別枠で採用した10人（一般事務職：2人、保育士：2人、幼稚園教諭：6人）については、職員数を削減して解消を図るため、令和4年度においては2人を削減した。 ・職員数：令和３年度 ７０５人→令和４年度 ７０３人（▲2人）	・引き続き、各部課への調査・ヒアリングにより課題などの把握に努める。 ・組織の見直し、事務の効率化、民間委託等の推進などにより、簡素で効率的な組織づくりを進める。 ・将来にわたって行政サービスを確実に提供し、新たな行政需要に的確に対応していくため、業務量に応じた必要な人員を確保するとともに、業務の効率化や既存体制の見直し等により定員管理を実施する。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　⑪　民間委託などの推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

<table>
<tr><th>No</th><th>取組項目
所管課</th><th>取組項目群の目的
取組内容</th><th>（決算）年度の
取組内容</th><th>評価</th><th colspan="6">成果・目標指標
評価の理由</th><th>取組の改善点・
今後の取組内容等</th></tr>
<tr><td rowspan="3">124</td><td>業務委託の推進</td><td rowspan="2">【目的】
サービスの質の向上や仕事の効率化を図るため、事務事業の民間委託などを推進するとともに、公の施設の管理について指定管理者制度の導入を図ります。</td><td rowspan="3">・事業管理シート、予算査定ヒアリング等における委託業務等の洗い出し、導入の検討</td><td rowspan="3">1・目標を達成</td><td>指標(単位)</td><td colspan="5">新たに委託する（指定管理者制度の導入含む。）業務の数　（ 件 ）</td><td rowspan="3">・組織や予算のヒアリング時において、施設の管理・運営を主体とした業務について、指定管理者制度の導入とともに委託の検討をさらに進める。</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">【取組内容】
サービスの質の向上や業務、組織の効率化などの面から委託が適当と認められる業務について、指定管理者制度の導入を含め、民間事業者などへの委託を進めます。</td></tr>
<tr><td>業務改善課</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>年度</td><td>３年度
（決算）</td><td>４年度</td><td>５年度</td><td>６年度</td><td>７年度
（目標年）</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>目標</td><td>１以上</td><td>１以上</td><td>１以上</td><td>１以上</td><td>１以上</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>実績</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="6">【評価の理由】
・騎西郷土史料展示室（騎西城）の公開期間（年4回）における受付業務を委託した。
・R4.3.31をもって指定管理期間が終了するあけぼの園について、改めて指定管理者制度導入の適否について検証した結果、継続での指定管理とした。
・上記のようなことから、目標としていた新たな委託等の業務数について、達成することができたため本評価とした。</td><td></td></tr>
</table>

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　⑫　若手や女性の積極的登用

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
125	昇任制度の運用 職員課	【目的】 人材の活用を図るため、管理職や政策立案部門に、若手や女性の登用を積極的に進めます。 【取組内容】 職員の仕事に対する意欲やチャレンジ精神を向上させることにより、組織の活性化及び適正な人事管理を推進します。	・女性1人が管理職試験を受験（H23:2人、H24:6人、H25:8人、H26:6人、H27:10人、H28:6人、H29:3人、H30:3人、R1:3人、R2:1人、R3:1人） ・女性管理職数 46人／管理職数 206人（22.3%） ・新規昇任試験受験資格者の受験率 ①主査職：受験者数5人／対象者数 11人(＝受験率 45.5%) ②主幹職：受験者数7人／対象者数 18人(＝受験率 38.9%)	３・やや遅れている	指標(単位)：4月1日現在の管理職に占める女性職員の割合（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：22／23／23／24／25 実績：22.3 指標(単位)：新たに受験資格を満たした職員の「主幹」・「主査」試験受験率（％） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：主査50　主幹70／主査50　主幹70／主査50　主幹70／主査50　主幹70／主査50　主幹70 実績：主査45.5　主幹38.9 【評価の理由】 ・管理職に占める女性職員の割合については、目標値を上回った。 ・昇任試験の受験率については、主査職及び主幹職とも目標値を下回ってしまった。	・昇任試験の実施については、各部課長から該当者に周知してもらうなど、男女を問わず昇任試験を受験するよう周知する。また、グループウェアでもこまめに周知する。
126	若手職員によるプロジェクトチームの編成 業務改善課	【目的】 人材の活用を図るため、管理職や政策立案部門に、若手や女性の登用を積極的に進めます。 【取組内容】 市の政策決定に様々な発想や意見を取り入れるため、若手職員によるプロジェクトチームを編成し、調査や企画立案を行います。	・若手職員によるプロジェクトチームを編成（１チーム・６名） ・会議開催（２０回） ・プレゼンテーション（２回）	２・概ね達成	指標(単位)：プロジェクトチームにより具現化された提案数（件） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：6／6／6／6／6 実績：5 【評価の理由】 ・「新しい時代に対応した安心安全の加須市へ」をテーマとしてプロジェクトチームによる提案がされた。 ・プロジェクトチームによる提案のうち、５本の提案が実施されることとなり、「安心安全なまちづくり」の充実を図ることができたことから、本評価とした。	・提案内容の事業化に向けて、関係課と調整を図る。 ・プロジェクトチームへの積極的な参加を促進する。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営
施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理
取組項目群　⑬　人事交流の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
127	県・民間企業などとの人事交流 職員課	【目的】 県や民間企業などと積極的な人事交流を行い、組織内の活性化を図ります。 【取組内容】 県や民間企業などへ職員を派遣し、組織の活性化を図ります。	・埼玉県への派遣４人（市町村課、文書課、行田県土整備事務所） ・（一社）地域活性化センター1人 ・（福）加須市社会福祉協議会1人 ・国土交通省利根川河川事務所1人	２・概ね達成	指標(単位)：県や民間企業等へ派遣した職員の数（人） 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：８／８／８／８／８ 実績：７／／／／ 【評価の理由】 ・埼玉労働局、済生会栗橋病院への派遣は令和２年度で終了したが、その他埼玉県、民間企業等への派遣については、当初の計画どおり実践できたため。	【評価の理由】 ・目標を達成するため、埼玉県や民間企業等との積極的な人事交流を図る。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　⑭　トップマネジメントの強化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
128	マネジメント研修の実施 職員課	【目的】 各部局のリーダーが、リーダーシップを発揮し、課長などに対して仕事の考え方やビジョンを示し、課長などは、部下職員とともに各取組について目標を定め、すべてのメンバーと仕事の目的と目標を共有し、目標の達成に向けて一丸となって取り組めるようにします。 【取組内容】 部課長級職員を対象に、マネジメント研修を実施し、マネジメント力の強化を図ります。	・課長以上の職員等を対象にメンタルヘルス（ラインケア）研修を実施（実施日：令和３年11月19日　修了者５６人） ・課長以上の職員等を対象に人事評価（評価者）研修を実施（実施日：令和３年10月22日　修了者72人）	２・概ね達成	指標(単位)：マネジメント研修において受講前に設定した受講目標が達成できた職員の割合　（人） 【評価の理由】 ・自主研修の効果測定において、目標値に近い実績となったため。	・引き続き、マネジメント研修を実施し、マネジメント力の強化を図る。

年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）
目標	95	95	95	95	95
実績	86				

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　⑭　トップマネジメントの強化

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・今後の取組内容等
129	人事評価（能力評価・業績評価）制度の推進 職員課	【目的】 各部局のリーダーが、リーダーシップを発揮し、課長などに対して仕事の考え方やビジョンを示し、課長などは、部下職員とともに各取組について目標を定め、すべてのメンバーと仕事の目的と目標を共有し、目標の達成に向けて一丸となって取り組めるようにします。 【取組内容】 人事評価を通じて、所属長がマネジメントを発揮することで、部下職員の職務遂行能力の向上及び所属職員に対する適正な管理・監督による人材育成を図ります。	・課長以上の職員等を対象に人事評価（評価者）研修を実施（実施日：令和3年10月22日　修了者72人）	２・概ね達成	指標(単位)：人事評価（能力評価・業績評価）制度の推進 年度：３年度（決算）／４年度／５年度／６年度／７年度（目標年） 目標：実施／実施／実施／実施／実施 実績：実施／／／／ 【評価の理由】 ・人事評価制度（能力評価及び業績評価）を実施したため。 ・評価結果を処遇等へ反映するとともに、人事異動や昇任の参考とした。	・人事評価制度の適正運用を行う。

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（３）職員の能力開発と時代に合った組織管理

取組項目群　⑮　組織マネジメントの整備・運用

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						取組の改善点・ 今後の取組内容等
130	リスクマネジメントの適正な運用 業務改善課、管理契約課	【目的】 市民に信頼される自治体となるため、リスクへの事前対策やミスを防止するためのチェック機能を整備するなど、組織マネジメントの運用を図ります。 【取組内容】 リスクマネジメント基本方針に基づき、市政を取り巻く様々なリスクに対し、自律的に対応できる体制を整備することにより、組織のリスクマネジメントを実践します。また、市が行う契約事務について、公正・公平な執行を行います。	・契約事務の研修会開催（課長級職員対象） ・入札及び随意契約事務において、ガイドライン等に基づいた適正な執行 ・リスクの見直し及びリスク管理表の更新を実施	１・目標を達成	指標(単位)	適正な契約事務の執行率				（％）	・契約事務において、疑念等を抱かれない様、引き続き適正に契約事務を遂行していく。 ・「リスクマネジメント基本方針」に基づき、リスクに対する更なる組織体制の強化に努める。
					年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）	
					目標	100	100	100	100	100	
					実績	100					
					指標(単位)	発生した各リスクへの対応率				（％）	
					年度	３年度（決算）	４年度	５年度	６年度	７年度（目標年）	
					目標	100	100	100	100	100	
					実績	100					
					【評価の理由】 ・課長級職員を対象にした契約事務の研修実施により、根拠法令等及び契約事務フローを再確認し、各課に公正かつ適正な契約事務の周知徹底を図ることができた。 ・加須市リスクマネジメント基本方針に基づき、リスクの事前対策を推進するとともに、リスク管理表の更新を行い、リスク予防・対策の見直しを行った。						

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（４）公共施設等の適正な配置

取組項目群　①　公共施設等の適正な配置の実現

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						取組の改善点・今後の取組内容等
131	老朽化対策と統廃合に向けた取組の推進 政策調整課	【目的】 公共施設の老朽化対策と合わせて施設の統廃合を進めます。また、指定管理者制度の導入を含め、民間事業者などへの委託を推進します。 【取組内容】 長期的な視点をもって、公共施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うため、推進本部会議における協議を行いながら、財政負担の軽減・平準化と公共施設の最適な配置の実現を目指します。	・公共施設のあり方について、本部会議及び分科会構成員で協議	1・目標を達成	指標(単位)	統廃合を実施した施設				（施設）	・財政規模に見合った再編を検討していく。
					年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
					目標	3	1	1	1	1	
					実績	3					
					【評価の理由】 ・施設所管課を中心に施設の在り方を検討した結果、3施設廃止となり、目標を達成することができたため。 ①北川辺公民館の廃止（中学校・コミセンの複合化） ②騎西老人福祉センターの廃止 ③北川辺老人福祉センターの廃止						
132	業務委託の推進　【再掲(-124)】 業務改善課	【目的】 公共施設の老朽化対策と合わせて施設の統廃合を進めます。また、指定管理者制度の導入を含め、民間事業者などへの委託を推進します。 【取組内容】 サービスの質の向上や業務、組織の効率化などの面から委託が適当と認められる業務について、指定管理者制度の導入を含め、民間事業者などへの委託を進めます。			指標(単位)	新たに委託する（指定管理者制度の導入含む。）業務の数				（件）	
					年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
					目標	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	
					実績						

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（４）公共施設等の適正な配置

取組項目群　①　公共施設等の適正な配置の実現

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						取組の改善点・今後の取組内容等
133	資産の有効活用等　【再掲(-90)】 管理契約課	【目的】 公共施設の老朽化対策と合わせて施設の統廃合を進めます。また、指定管理者制度の導入を含め、民間事業者などへの委託を推進します。 【取組内容】 未利用市有地の有効活用などを図り、自主財源の確保に努めます。			指標(単位)	未利用市有地（普通財産・土地）の売払い又は利活用決定件数　（ 件 ）					
					年度	3年度（決算）	4年度	5年度	6年度	7年度（目標年）	
					目標	2	2	2	2	2	
					実績						

「市役所力」の向上

基本目標　５　効果的で効率的な自治体経営

施　　策　（５）広域行政の推進

取組項目群　①　広域的な取組の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 所管課	取組項目群の目的 取組内容	（決算）年度の 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由	取組の改善点・ 今後の取組内容等
134	公共施設の相互利用の推進 政策調整課	【目的】 公共施設の相互利用の実施や一部事務組合、広域連合により、効率的な事務執行を推進します。 【取組内容】 広域行政連携目的とした関東どまんなかサミット会議等に参画し、公共施設の相互利用や水害時広域避難場所の確保等の広域的な取組を推進します。	・関東どまんなかサミット会議や北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会等に参画し、公共施設の相互利用等の連携事業等を実施（相互利用施設の情報更新と市ホームページへの掲載）	1・目標を達成	指標(単位)：広域行政連携を目的に参画している協議会等の数（数） 年度：3年度（決算）／4年度／5年度／6年度／7年度（目標年） 目標：3／3／3／3／3 実績：3／／／／ 【評価の理由】 ・関東どまんなかサミット会議や北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会等に参画し、公共施設の相互利用等の連携事業等を実施することができたため。	・引き続き、関東どまんなかサミット会議や北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会等の構成市町ともに各種連携事業を推進していく。